

Panasonic[®]

取扱説明書 設置・設定編

機能拡張ソフトウェア

品番 WV-SAE303W

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本書では、品番の一部を省略している場合があります。

はじめに

商品概要

機能拡張ソフトウェア WV-SAE303W（以下、本製品）は、対象のネットワークカメラ（以下、カメラ・別売り）をより便利にお使いいただくためのソフトウェアです。本製品を使用することにより、映像監視を行いながら、店舗やビルなどにおける出入口の人数カウントを行うことができます。

重要

- 本製品の対応機種や対応ファームウェアバージョン、機能拡張ソフトウェア、各種ツールは、以下のURLを参照してください。
<<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html>>

特長

- 本製品では、人を識別し、あらかじめ設定されたラインを越えた人数をカウントし、その情報を統計処理して提供します。
- 付属の「人数カウント簡単設定ツール」をお使いいただくことで、人数をカウントするための設定を簡単に行うことができます。
- 付属の「集計・グラフ簡易表示アプリケーションソフト（以下、集計・グラフ簡易表示アプリ）」をお使いいただくことで、例えば店舗における1日の総入店／退店者数や1時間ごとの入店／退店者数、フロアごとの入店／退店者数などを表およびグラフ表示することができます。

※上記のURLで対応機種をご確認ください。

仕様

主な仕様は以下の通りです。

人数カウント方式	ラインクロス
ライン本数	1本
用途	店舗などの出入口（屋内設置）での人数カウント
集計ツール 管理可能カメラ台数	本製品に付属（集計・グラフ簡易表示アプリケーションソフト） 最大96台（台数によってデータ取得間隔が増加します）
人数カウント結果表示機能	あり
グループ集計機能	あり
カメラからの自動収集機能	あり
データ保存日数（カメラ側）	内部メモリー：1日 SDメモリーカード（4GB以上）：3か月 ^{※1}
データ保存日数(PC側)	10年 ※10年を過ぎるとデータが削除されます

※1 パーソナルコンピュータ（以下、PC）の修理などメンテナンス時にもカメラ側でカウントデータを長期保存できるため、SDメモリーカードのご使用を推奨いたします。動作確認済みSDメモリーカードはご使用のカメラの取扱説明書を参照してください。ただし4GB未満のSDメモリーカードは使用できません。

取扱説明書について

本書は、「機能拡張ソフトウェア」をカメラにインストールする方法と付属の「人数カウント簡単設定ツール」、「集計・グラフ簡易表示アプリ」のPCへのインストール方法、および「人数カウント簡単設定ツール」を用いた設定方法について説明しています。本製品は「機能拡張ソフトウェア」をカメラに登録のうえご使用いただくことを前提にしているため、ご使用の際には、必ずお使いのカメラの取扱説明書もあわせてお読みください。お使いのカメラの機種によっては、本書で使用しているカメラの画面と異なる場合があります。

また、付属の「集計・グラフ簡易表示アプリ」の設定および運用時の操作方法については、本製品の「取扱説明書 運用編」をお読みください。

本書で使用しているカメラの画面は、WV-S4150を代表として記載しています。お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。

PDF ファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader® 日本語版が必要です。PCにAdobe® Reader® 日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe Reader 日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

認証情報について

「集計・グラフ簡易表示アプリ」の認証情報（パスワード）は、第三者の目に触れないように適切に保管してください。

必要なPCの環境

本製品の「機能拡張ソフトウェア」をインストールしたカメラ、および「人数カウント簡単設定ツール」、「集計・グラフ簡易表示アプリ」をPCから操作する場合に必要なPC環境は、以下のとおりです。

CPU	Intel® Core™ i5-2400以上、Intel® Core™ i7-860以上
メモリ	4GB以上
ネットワーク機能	10BASE-Tまたは100BASE-TX 1ポート
画像表示機能	解像度：1024×768 ピクセル以上 高解像度モニタリング：3840×2160 ピクセル以上
対応OS・ウェブブラウザ	Microsoft Windows 10 日本語版（32/64ビット）のとき Windows Internet Explorer 11 日本語版（32/64ビット） Microsoft Windows 8.1 日本語版（32/64ビット）のとき Windows Internet Explorer 11 日本語版（32/64ビット） Microsoft Windows 7 日本語版（32/64ビット）のとき Windows Internet Explorer 11 日本語版（32/64ビット）

重要

- 必要なPC環境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったり、ウェブブラウザが操作できなくなったり、異常動作に陥るなどの不具合が発生する恐れがあります。
- 「集計・グラフ簡易表示アプリ」の帳票作成機能をご使用いただくためには、Microsoft Office Excel 2010以降のバージョンがインストールされている必要があります。
(Microsoft Office Excel 2010、2013、2016にて動作確認済み)
- Windowsのユーザーの言語設定に応じた言語のExcelをご利用ください。(言語設定が日本語であれば日本語版、英語であれば英語版のExcel)
- 「人数カウント簡単設定ツール」および「集計・グラフ簡易表示アプリ」をご使用いただく際には、「コントロールパネル」の「デスクトップのカスタマイズ」において、「テキストやその他の項目の大きさ変更」で「小-100%(規定)(s)」を適用してください。適用していない場合、画面が崩れることがあります。
- Microsoft Windows 8.1の場合、「クラシック UI」でご使用ください。「Modern UI design」では動作しません。
- 「集計・グラフ簡易表示アプリ」の起動中はPCのログオフおよびシャットダウンを行わないようにしてください。ログオフおよびシャットダウンする場合は「集計・グラフ簡易表示アプリ」を終了してください。

必要なネットワークの環境

本製品の「機能拡張ソフトウェア」をインストールしたカメラ、およびPCにインストールした「集計・グラフ簡易表示アプリ」を利用する場合に、必要なネットワーク環境は以下のとおりです。

ローカル環境で使用する場合

有線LAN回線でご使用ください。

インターネット環境で使用する場合

グローバルIPアドレスの付与されたインターネット回線でご使用ください。

※インターネットに接続する環境は、お客様にてご準備願います（別途プロバイダー契約やモデム・ルーターなどの装置が必要です）。なお、プロバイダーに対しての限定はありません。

【制約事項】

- ルータはポートフォワーディング機能を有していること。
- 無線LANは利用できません。
- IPV6には対応していません。
- カメラ側でダイナミックDNSサービス（みえますネットなど）を利用する場合、カメラの接続元のルーターが多段に接続されているとインターネットを経由したデータ取得はできません。
- カメラ側のファイアウォールでPC側（「集計・グラフ簡易表示アプリ」側）からの通信が制限される場合、インターネットを経由したデータ取得はできません。
- カメラ側のプロキシでPC側（「集計・グラフ簡易表示アプリ」側）からの通信が制限される場合、インターネットを経由したデータ取得ができません。
- カメラ側にプロキシサーバーある場合、PC側（「集計・グラフ簡易表示アプリ」側）で独自アラーム通知は受信できません。
- PC側（集計・グラフ簡易表示アプリ側）でダイナミックDNSサービスを利用する場合、PC側（集計・グラフ簡易表示アプリ側）の接続元のルーターが多段に接続されていると独自アラーム通知は受信できません。
- PC側（集計・グラフ簡易表示アプリ側）のファイアウォールでカメラ側からの通信が制限される場合、PC側（「集計・グラフ簡易表示アプリ」側）で独自アラーム通知は受信できません。
- PC側（集計・グラフ簡易表示アプリ側）のルーターでカメラ側からの通信が制限される場合、PC側（「集計・グラフ簡易表示アプリ」側）で独自アラーム通知は受信できません。
- PC側（集計・グラフ簡易表示アプリ側）のプロキシでカメラ側からの通信が制限される場合、PC側（「集計・グラフ簡易表示アプリ」側）で独自アラーム通知は受信できません。
- PC側（「集計・グラフ簡易表示アプリ」側）も固定のグローバルIPアドレス、もしくはダイナミックDNSサービスを利用したアドレスが無い場合、独自アラーム通知は受信できません。

重要

- 本製品はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。
 - ① 本製品を経由した情報の漏えいや流出
 - ② 悪意を持った第三者による本製品の不正操作
 - ③ 悪意を持った第三者による本製品の妨害や停止このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。
- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本製品を使用してください。
- コンピューターが接続されているシステムで本製品を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認してください。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー認証を利用し、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- 管理者で本製品にアクセスしたあとは、必ずすべてのウェブブラウザを閉じてください。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更してください。また、認証情報（ユーザー名、パスワード）を第三者の目に触れないよう、適切に保管してください。
- 人数カウントデータ、認証情報（ユーザー名、パスワード）などをネットワーク上に漏えいさせないため、それらの情報を格納しているサーバーや各種接続機器に対してユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施してください。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Excelは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Coreは米国およびその他の国におけるIntel Corporation の商標または登録商標です。
- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインにしたがって画面写真を使用しています。

略称について

本書では以下の略称を使用しています。

「ネットワークカメラ」を「カメラ」と表記しています。

「集計・グラフ簡易表示アプリケーションソフト」を「集計・グラフ簡易表示アプリ」と表記しています。

著作権について

オープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

免責について

弊社は、いかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本製品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③ お客様による本商品の逆コンパイル、逆アセンブルが行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ PCに保存された画像データ、音声データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど
- ⑤ ネットワーク上からの不正アクセスなど悪意を持った第三者による人数カウントデータ、設定データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）の漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど
- ⑥ 登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本商品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと

個人情報／プライバシーの保護について

- 本製品を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。^{*}
法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。
※ 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。
- ネットワークカメラの設置や利用に際しては、ご利用されるお客様の責任で録画される個人のプライバシー、肖像権への配慮と、個人情報の適切な取り扱いを行ってください。^{*}
※ プライバシーは「私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利」また、肖像権は「みだりに他人から自らの容貌・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

付属ソフトウェアについて

- **人数カウント簡単設定ツール（付属品）**
人数カウントのための設定を簡単に行うためのツールです。機能概要については、本書の「カメラの設置と設定」の「人数カウント簡単設定ツールについて」（[P.22](#)ページ）を参照してください。
- **集計・グラフ簡易表示アプリケーション（付属品）**
取得した人数カウント情報を集計し、帳票作成を行うためのアプリケーションです。機能概要については、「取扱説明書 運用編」を参照してください。

ご使用の前にお読みください

- 本製品は、照度が安定した屋内の出入口でご使用ください。(屋外用のカメラをご使用の場合も屋内にカメラを設置してください)
- 本製品の「機能拡張ソフトウェア」をインストールするカメラは、地面に対して水平になるように天井に取り付けてご使用ください。
- SDメモリーカード(4GB以上)はカメラを取り付ける前に挿入してください。
- 以下のような場合、人数計測精度が落ちる場合があります。

【設置環境起因】

- ・カメラから地面までの距離が近過ぎたり遠過ぎたりする。(推奨距離：3.0 m～4.0 m)
- ・カメラから出入口ドアまでの距離が近過ぎたり遠すぎたりする。(推奨距離：1.5 m～2.0 m)
- ・カメラが計測地点の真上に付いていない。(例：計測地点に対し、離れた場所にカメラが付いている)
- ・強い外光が差し込み、影ができる。
- ・車のヘッドライトなどの外光が入る。
- ・計測地点周辺で照度の変動する。(例：点滅する光源があり、計測地点周辺の照度の変動する)
- ・照度が低過ぎる。(近赤外線照明を使用しても必要な人数計測精度はできません。)

【計測シーン起因】

- ・計測地点を通過する人数が多過ぎる。(目安：1時間あたりの通過人数が1000人(入店500人・退店500人)を超えると精度が落ちることがあります)
- ・計測地点付近で滞留が発生する。
(例：計測地点付近に案内コーナー(インフォメーションなど)や店舗の陳列棚があり、来店客が滞留する)
- ・計測地点付近を計測対象ではない人物が通過する。
(例：店舗出入口にカメラを設置しており、入店/退店者数をカウントしたい場合に、計測ライン周辺を(入店/退店せずに)横切る人物がいる)
- ・計測対象の人物が、設定したライン上を通過していない。
(例：店舗出入口で設定したラインを通過する前に、手前で左に曲がって店内へ進む)
- ・計測対象の人物の動きが早過ぎたり遅過ぎたりする。
- ・計測対象の人物の身長が高過ぎたり低過ぎたりする。
(目安：カメラ高さ3.0mのとき、120cm以下か190cm以上である場合)
- ・計測地点の床色と計測対象の人物の輝度差(明るさの差)が少ない。
- ・計測対象の人物が大きな荷物を抱えている。(例：荷台を押している)
- ・計測対象の人物が独立歩行していない。(例：抱かれた幼児)

【その他】

- ・カメラの撮像モードが「魚眼モード」以外になっている。
- ・カメラからストリーム(H.265/H.264)/JPEG画像配信を3本以上行っている。
- ・カメラの設定で「ダイナミックレンジ制御」を[On(スーパーダイナミック)]に設定している。
(WV-X4171)
- ・カメラのレンズに汚れが付いている。
- ・カメラが揺れている。
- 電源投入後やカメラの設定変更後、およびカメラの画角が変わった後、約1分間は精度が落ちる場合があります。
- 本製品の諸設定、あるいはその結果で被る不便、損害、被害に関して弊社は一切の責任を負いかねます。

もくじ

はじめに

商品概要	2
特長	2
仕様	2
取扱説明書について	3
認証情報について	3
必要なPCの環境	3
必要なネットワークの環境	4
商標および登録商標について	5
略称について	5
著作権について	5
免責について	5
個人情報／プライバシーの保護について	6
付属ソフトウェアについて	6
ご使用の前にお読みください	7

準備

運用までの流れ	9
カメラの設置位置を決定する	10
機能拡張ソフトウェアのインストール	11
機能拡張ソフトウェア画面について	14
人数カウント簡単設定ツールのインストール ...	16
集計・グラフ簡易表示アプリのインストール ...	19

設定

カメラの設置と設定	22
カメラの設置	22
人数カウント簡単設定ツールについて	22
人数カウントの設定を行う	24
カメラの人数カウント設定画面について	33
保守について	35
制約事項／エラーについて	36

その他	43
エクスポート/出力データの取り扱いについて	43
フォルダー・ファイルについて	43

運用までの流れ

購入前

機能拡張ソフトウェアを登録する際は、以下のURLで対応機種、ソフトウェアバージョンなどをご確認ください。

<<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html>>

カメラの設置位置を決定する

☞ 10ページ

有効な設置位置があるかを確認してください。



1

機能拡張ソフトウェアのインストールを行う

☞ 11 ~ 15ページ



2

人数カウント簡単設定ツールのインストールを行う

☞ 16 ~ 18ページ



3

集計・グラフ簡易表示アプリのインストールを行う

☞ 19 ~ 21ページ



4

カメラの設置と設定を行う

☞ 22 ~ 34ページ

「人数カウント簡単設定ツール」を使用して、人数カウントのための設定を行います。



運用開始

「集計・グラフ簡易表示アプリ」を使用して、人数のカウントを集計します。詳細は「取扱説明書 運用編」を参照してください。

カメラの設置位置を決定する

はじめに、カメラの設置場所を決定します。

以下に記載の条件(「カメラ設置高さ」「カメラ設置位置」「カメラ設置向き」)に合わせて設置場所を決定してください。「ご使用前にお読みください」(P7ページ) もあわせてご確認ください。

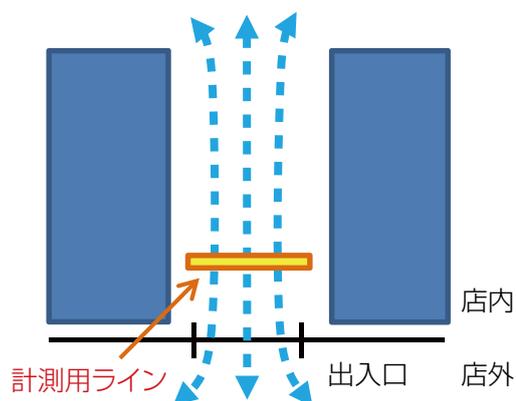
●カメラ設置場所

設置場所を検討する際、事前にカウント対象者の動線および周辺を通過する人物の動線を観察してください。

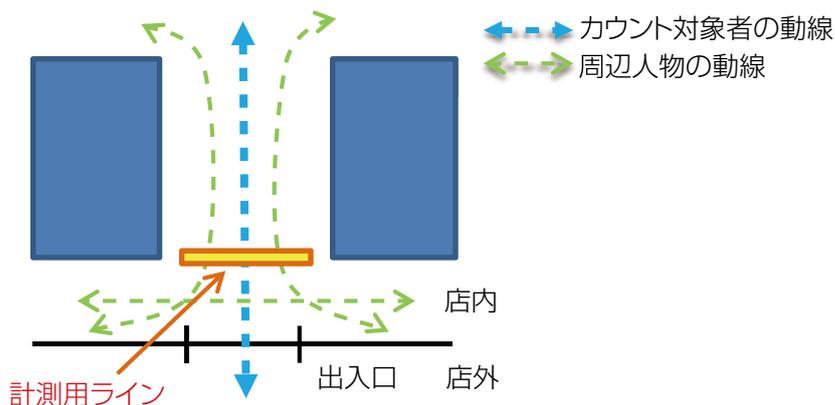
○出入口を通過する動線が1本となる場所を推奨しています。

× 動線が複数ある場所は、入店/退店者以外の人物が通過するため推奨していません。

○動線が1本



×動線が複数



●カメラ設置高さ

床面からの高さ：2.5 m ～ 4.0 m (推奨：3.0 m ～ 4.0 m)

※2.5 m ～ 3.0 m の場合、歩行速度が速いと、カウントできないことがあり、過少カウント傾向になります。

●カメラ設置位置

出入口からの距離：1.5 m ～ 2.0 m

※スライドドアの場合は1.0 mでも問題はありませんが、退店人数が過少カウント傾向になります。

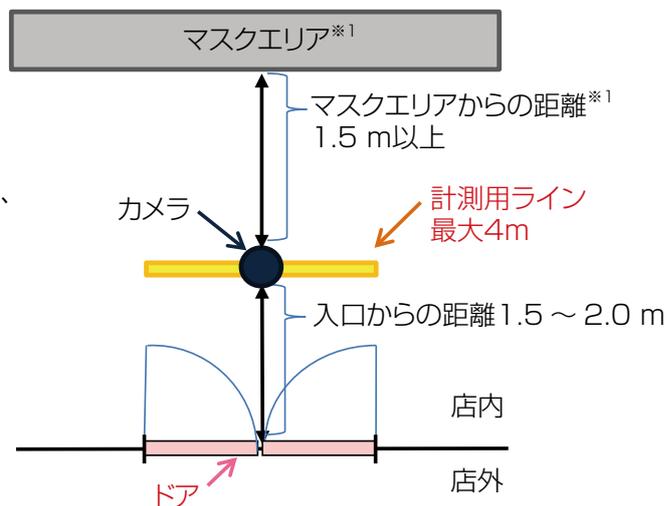
計測幅の中央に設置

(計測用ライン幅=ドア幅 [最大4.0 m])

マスクエリアを設定する場合、マスクエリアからラインまでの距離が1.5 m以上になるように設置

●カメラ設置向き

画面内4方向のいずれかに出入口が来るように設置



※1 マスクエリアを設定する場合

機能拡張ソフトウェアのインストール

機能拡張ソフトウェアを使用するには、お使いのカメラに本製品の解除キー番号を登録する必要があります。解除キー番号の取得については、カメラをお買い上げの販売店にお問い合わせください。解除キー番号の登録は、カメラへのアクセスレベルが「1.管理者」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、カメラの取扱説明書をお読みください。

下記の手順にしたがって、解除キー番号を取得してください。

<キー管理システムの登録IDをお持ちでない方>

⇒ キー管理システムのサイトにアクセスして、登録IDを取得してください。STEP1からお読みください。

<キー管理システムの登録IDをすでにお持ちの方>

⇒ キー管理システムのサイトにアクセスし、取得済みの登録IDを使って「解除キー番号発行」を行ってください。STEP2からお読みください。

登録ID、解除キー番号を取得するには、下記のURLのサイトにアクセスしてください。

パソコン・スマートフォン用 <<https://kms.business.panasonic.net/ipkms/m-jp/>>

※スマートフォンからアクセスするときは、フルブラウザ相当でアクセスしてください（スマートフォンの機種によっては接続できないことがあります）。

パソコン専用 <<https://kms.business.panasonic.net/ipkms/pc/jp.htm>>

STEP1 「ご販売店様登録」をします。

- (1) 上記のURLにアクセスし、「ご販売店様登録」を選択します。
※パソコン専用URLからアクセスしたときは、「新規登録を行う場合はこちらをクリック」をクリックします。
- (2) 画面の指示にしたがって、ご自身の情報を入力します。
- (3) 登録IDとパスワードが発行されます。大切に保管してください。

重要

- 登録IDとパスワードは、大切に保管してください。次回以降、新たに登録IDを取得する必要はありません。発行された登録IDを使用してください。
- パスワードは、定期的に変更してください。パスワードの変更は、パソコン専用URLにログインし、「パスワード変更」から行ってください。

STEP2 カメラのファームウェアのアップデートを行います。

- (1) 下記のURLにアクセスし、この拡張ソフトウェアに対応するカメラのファームウェアのバージョンを確認し、PCに保存します。
<<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html>>
- (2) 対象のカメラのファームウェアをアップデートします。アップデート方法は対象カメラの取扱説明書を参照してください。

STEP3 機能拡張ソフトウェアのインストールを行います。

- (1) 下記のURLにアクセスし、「機能拡張ソフトウェア」をダウンロードし、PCに保存します。
<<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html>>

機能拡張ソフトウェアのインストール (つづき)

- (2) 以下のURLをウェブブラウザに入力してください。
- [http:// \(カメラIPアドレス\) /admin/
setup_ext_software.html](http://(カメラIPアドレス)/admin/setup_ext_software.html)

お知らせ

- 「設定」メニューー「メンテナンス」ページの「バージョンアップ」タブの「拡張ソフトウェア画面へ」からアクセスできます。



重要

- カメラの「残ROM容量」「残RAM容量」を確認してください。すでに別の機能拡張ソフトウェアがインストールされている場合には、アンインストールする、または別のカメラを準備する必要があります。アンインストールについては15ページをお読みください。

- (3) [参照] ボタンをクリックしてダウンロードした「機能拡張ソフトウェア」を指定します。



- (4) [実行] ボタンをクリックします。



- (5) 確認画面で「拡張ソフトウェアをインストールします。よろしいですか?」と表示されるので、[OK]をクリックします。「機能拡張ソフトウェア」のインストールが行われます。

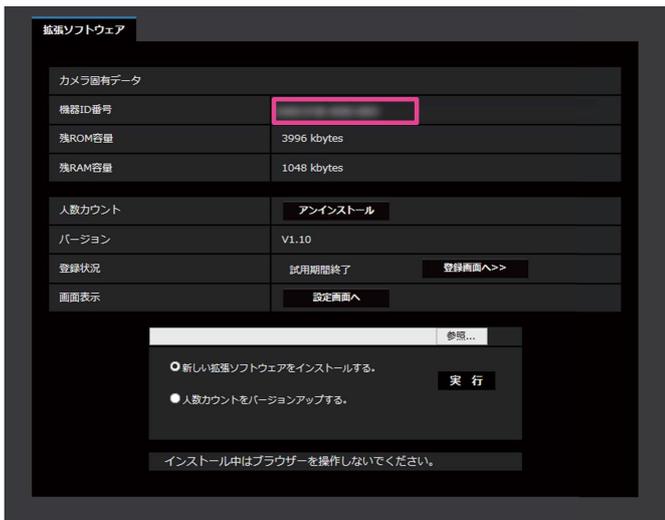
重要

- 保存ディレクトリには、スペース、全角文字は使用できません。
 - インストールに使用する機能拡張ソフトウェアは、当社指定のファイル (extファイル) を使用してください。
 - インストール中は、カメラの電源を切らないでください。
 - インストール中は、インストールが終了するまで一切の操作を行わないでください。
 - インストールに失敗すると、機能拡張ソフトウェアの情報が表示されません。
- 機能拡張ソフトウェアのROM/RAM容量やカメラのバージョンなどを確認してください。

STEP4 解除キー番号を取得します。

- (1) 機器ID番号、起動ID番号および暗号ID番号を確認します。
- 以下のURLをウェブブラウザに入力して、機器ID番号を確認してください。
[http:// \(カメラIPアドレス\) /admin/setup_ext_software.html](http://(カメラIPアドレス)/admin/setup_ext_software.html)

機能拡張ソフトウェアのインストール (つづき)



※機器ID番号は、製品の包装で確認することもできます。

- 起動ID番号および暗号ID番号は、起動情報案内カードに記載されています。

(2) 下記のURLにアクセスし、「解除キー番号発行」を選択します。キー管理システムに登録済みの登録IDとパスワードを入力してログインします。

パソコン・スマートフォン用

<<https://kms.business.panasonic.net/ipkms/m-jp/>>

パソコン専用

<<https://kms.business.panasonic.net/ipkms/pc/jp.htm>>

(3) 画面の指示にしたがって、機器ID番号、起動ID番号および暗号ID番号を入力します。

(4) 解除キー番号が発行されます。起動情報案内カードに記載し、大切に保管してください。

重要

- 機器ID番号と起動ID番号、暗号ID番号の組み合わせを間違えないようにご注意ください（一度解除キー番号を発行した起動ID番号は、別の機器ID番号との組み合わせで解除キー番号を発行することはできません）。
- 別のカメラについて解除キー番号を発行する場合は、STEP4の(3)(4)を行ってください。
- 1台のカメラに複数の解除キー番号を登録する場合は、STEP4の(3)で複数の起動ID番号、暗号ID番号を入力することで、同時に解除キー番号を発行できます。

STEP5 解除キーの登録を行います。

(1) 以下のURLをウェブブラウザに入力してください。
[http://\(カメラIPアドレス\)/admin/setup_ext_software.html](http://(カメラIPアドレス)/admin/setup_ext_software.html)



(2) 「登録画面へ>>」をクリックして、「アプリケーション登録」画面を表示します。



(3) 「解除キー番号」欄に、STEP4で取得した解除キーを入力し、[登録] ボタンをクリックします。解除キーの登録後、「機能拡張ソフトウェア」が有効になります。解除キー番号は、- (ハイフン) を除いて入力してください。

機能拡張ソフトウェア画面について

機能拡張ソフトウェアがインストールされると、カメラ固有データや機能拡張ソフトウェアの登録状況などが表示されます。またこの画面で以下の操作が行えます。

- 機能拡張ソフトウェアのアンインストール
- 登録状況の詳細画面の表示
- 機能拡張ソフトウェアの設定画面の表示
- 機能拡張ソフトウェアのアップデート

お知らせ

- 最大で2つの機能拡張ソフトウェアをインストールできます。
- 機能拡張ソフトウェア WV-SAE200Wは同時にインストールすることができません。
- 複数の機能拡張ソフトウェアを同時に動作させることはできません。



カメラ固有データ

【機器ID番号】

機能拡張ソフトウェアを動作させるのに必要なIDです。各カメラ固有です。

【残ROM容量】

カメラに残っている機能拡張ソフトウェア用のROM容量を表示します。インストールする機能拡張ソフトウェアが、ここに表示されているROM容量以上を必要とする場合は、インストールできません。

【残RAM容量】

カメラに残っている機能拡張ソフトウェア用のRAM容量を表示します。インストールする機能拡張ソフトウェアが、ここに表示されているRAM容量以上を必要とする場合は、インストールできません。

お知らせ

- カメラの機種やバージョンにより、機能拡張ソフトウェアで使用できる容量が異なる場合があります。

機能拡張ソフトウェア画面について（つづき）

機能拡張ソフトウェア

【アンインストール】 ボタン

インストールした機能拡張ソフトウェアをアンインストールできます。

【バージョン】

機能拡張ソフトウェアをインストールしている場合、インストールしている機能拡張ソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

【登録状況】

機能拡張ソフトウェアをインストールしている場合、インストールしている機能拡張ソフトウェアの登録状況が表示されます。

XXXX-XXXX-XXXX-XXXX: 解除キーが表示されている場合、登録されています。機能拡張ソフトウェアを動作させることができます。

【設定画面へ】 ボタン

機能拡張ソフトウェアが、設定画面など独自の画面を持っている場合にその画面を表示させることができます。

バージョンアップする

すでにインストールされている機能拡張ソフトウェアを選択し、【実行】 ボタンをクリックすると、機能拡張ソフトウェアをバージョンアップできます。

人数カウント簡単設定ツールのインストール

インストールする

STEP1 「人数カウント簡単設定ツール」をダウンロードします。

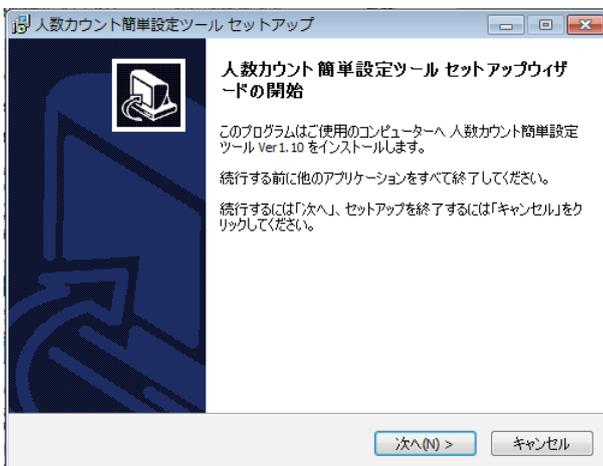
- (1) 下記のURLにアクセスし、「人数カウント簡単設定ツール」をダウンロードし、PCに保存します。
<<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html>>
- (2) 保存したZIPファイルを解凍します。

STEP2 「人数カウント簡単設定ツール」をインストールします。

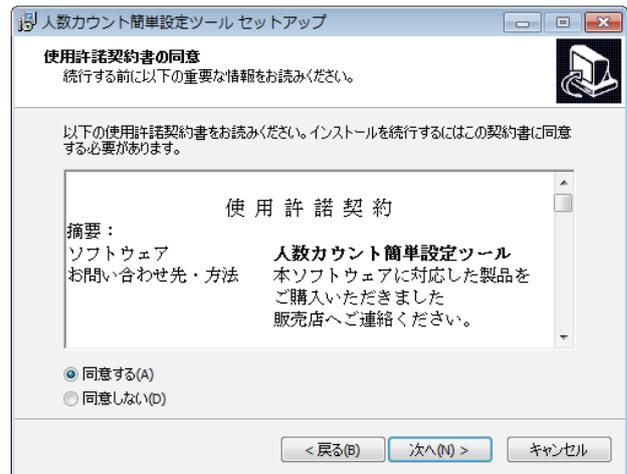
- (1) 解凍先のフォルダを開き、「PeopleCountSetting_v***.exe」をダブルクリックし、起動します。
- (2) インストールには管理者権限が必要となります。ユーザーアカウント制御画面で「はい」をクリックしてください。



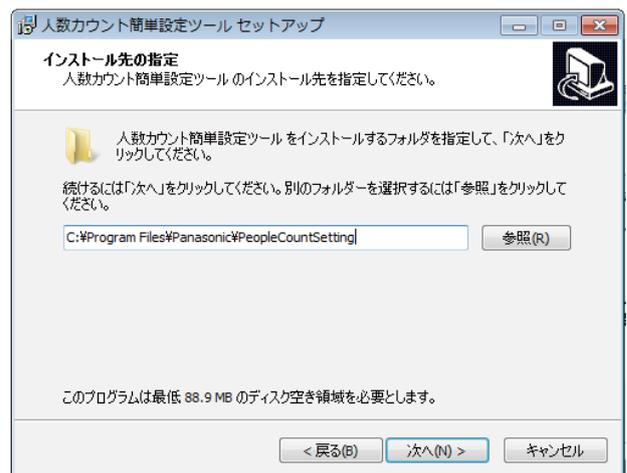
- (3) インストール開始画面が表示されるため、「次へ」をクリックしてください。



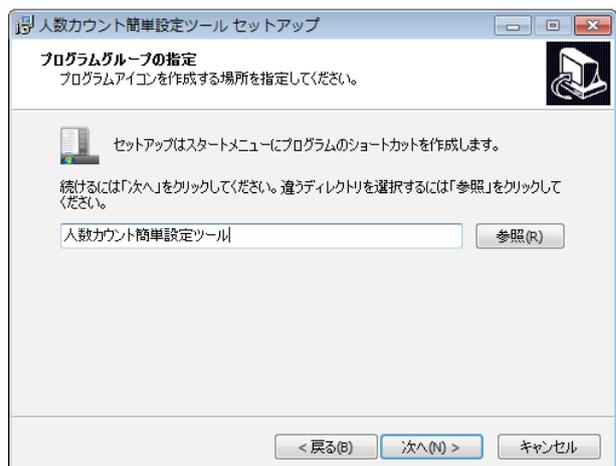
- (4) 使用許諾画面をお読みいただき、同意できる場合は、「同意する」にチェックし、「次へ」をクリックしてください。
同意できない場合は「人数カウント簡単設定ツール」をご利用いただけません。



- (5) インストール先を指定します。「参照」をクリックすることで、インストール先のフォルダを変更することができます。指定完了後に「次へ」をクリックしてください。

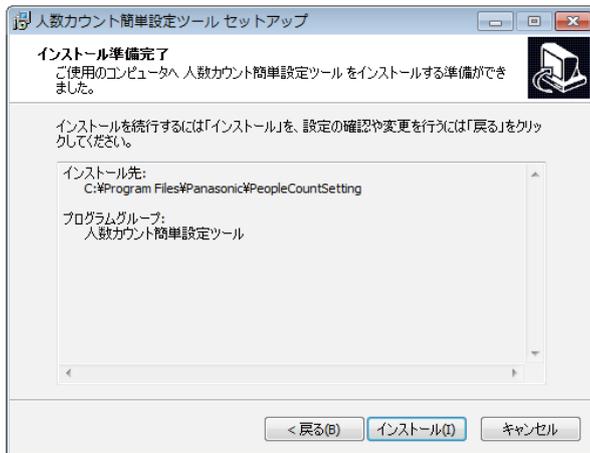


- (6) スタートメニューのショートカット作成先を指定できます。「参照」をクリックすることで異なるフォルダを指定することができます。指定完了後に「次へ」をクリックしてください。

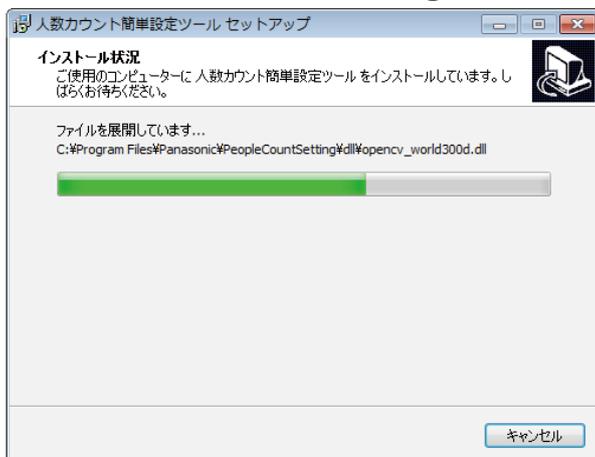


人数カウント簡単設定ツールのインストール (つづき)

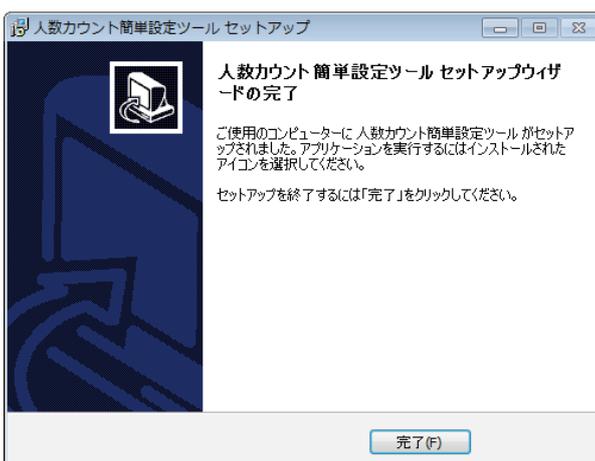
- (7) 指定したインストール先とプログラムグループに問題が無ければ「インストール」をクリックしてください。



- (8) インストールが完了するまで、お待ちください。
※下記の関連プログラムも同時にインストールされます。削除すると、「人数カウント簡単設定ツール」は正常に動作できないため、削除しないでください。
- ・ Microsoft Visual C++ 2005 Redistributable Package



- (9) 最後にデスクトップには「人数カウント簡単設定ツール」のショートカットが作成されます。インストール完了画面で「完了」をクリックするとインストール終了です。



重要

- 過去にアンインストールしたフォルダを指定した場合、設定値が保存されていれば、設定値を引き継ぎます。

アンインストールする

アンインストールする前には、「人数カウント簡単設定ツール」を終了させてください。下記にOSごとのアンインストール手順を記載しています。

<windows7の場合>

- (1) OSのWindowsマークの「スタートボタン」をクリックしてください。
- (2) スタートメニュー右側の「コントロール パネル」をクリックしてください。
- (3) 「プログラム」カテゴリの「プログラムのアンインストール」をクリックしてください。
- (4) プログラム一覧から「人数カウント簡単設定ツール V*.**」を右クリックし、「アンインストール」をクリックしてください。

<windows8.1の場合>

- (1) OSのスタートメニューで画面下の「↓」ボタンをクリックしてください。
- (2) アプリ一覧から「人数カウント簡単設定ツール V*.**」を右クリックし、「アンインストール」をクリックしてください。

<windows10の場合>

- (1) OSのWindowsマークの「スタートボタン」をクリックしてください。
- (2) スタートメニュー左下に表示されている歯車アイコンの「設定」をクリックしてください。
- (3) 「アプリ」をクリックしてください。
- (4) 「アプリと機能」のプログラム一覧から「人数カウント簡単設定ツール V*.**」をクリックし、「アンインストール」をクリックしてください。

重要

- アンインストール時はログを除き、すべてのファイルが削除されます。必要に応じて、アンインストール前にデータのバックアップをおとりください。

人数カウント簡単設定ツールのインストール（つづき）

バージョンアップする

バージョンアップする前には、「人数カウント簡単設定ツール」を終了させてください。

バージョンアップ手順はインストール手順とほぼ同様ですが、バージョンアップ時にはインストール場所を指定する必要はありません。また、バージョンアップ時は現在の設定値を引き継ぎます。

手順は「インストールする」(16ページ)を参照してください。

集計・グラフ簡易表示アプリのインストール

インストールする

STEP1 「集計・グラフ簡易表示アプリ」をダウンロードします。

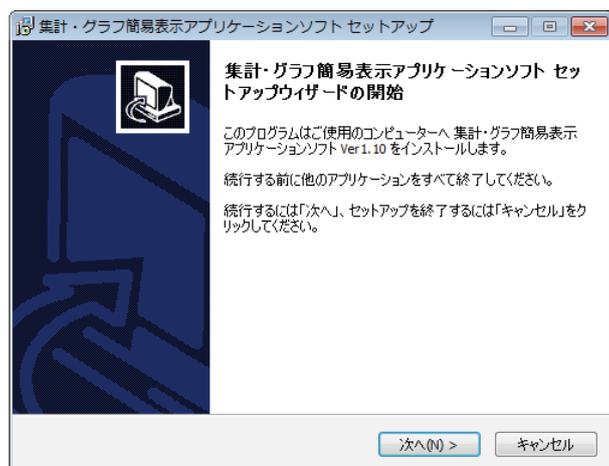
- (1) 下記のURLにアクセスし、「集計・グラフ簡易表示アプリ」をダウンロードし、PCに保存します。
<<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html>>
- (2) 保存したZIPファイルを解凍します。

STEP2 「集計・グラフ簡易表示アプリ」をインストールします。

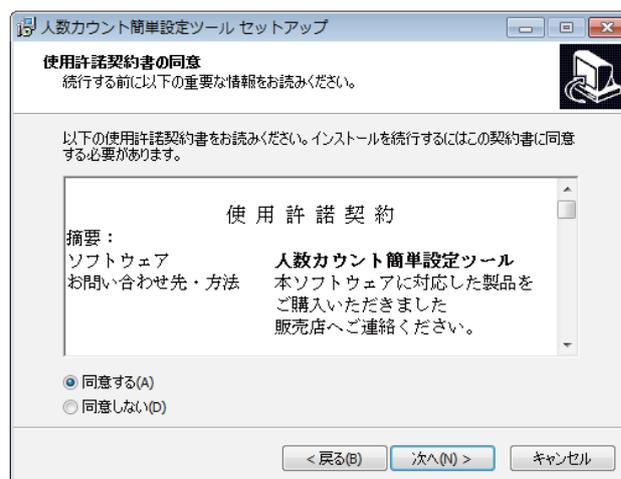
- (1) 解凍先のフォルダを開き、「PeopleCountOutput_v**jp.exe」をダブルクリックし、起動します。
- (2) インストールには管理者権限が必要となります。ユーザーアカウント制御画面で「はい」をクリックしてください。



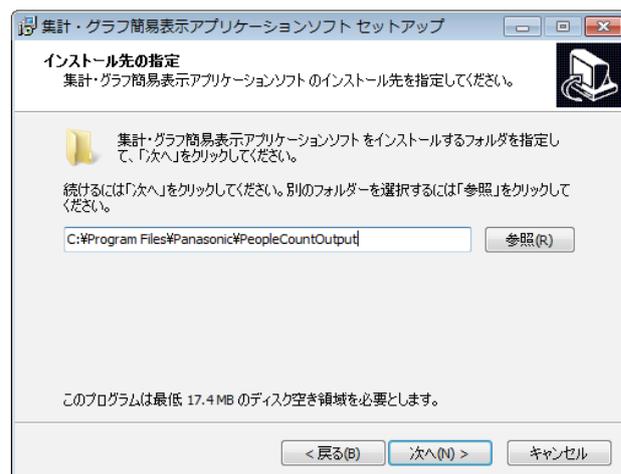
- (3) インストール開始画面が表示されるため、「次へ」をクリックしてください。



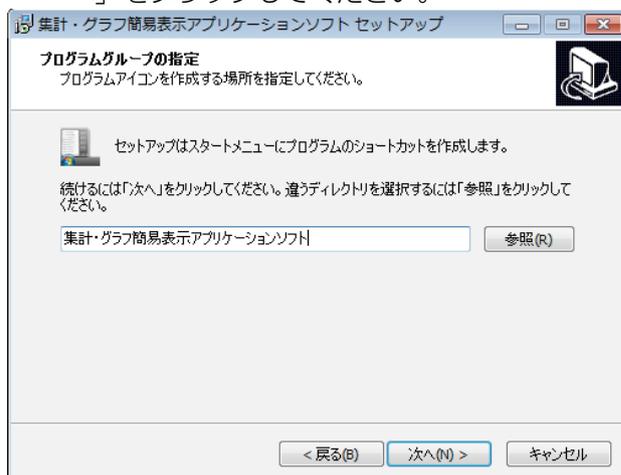
- (4) 使用許諾画面をお読みいただき、同意できる場合は、「同意する」にチェックし、「次へ」をクリックしてください。
同意できない場合は「集計・グラフ簡易表示アプリ」をご利用いただけません。



- (5) インストール先を指定します。「参照」をクリックすることで、インストール先のフォルダを変更することができます。指定完了後に「次へ」をクリックしてください。

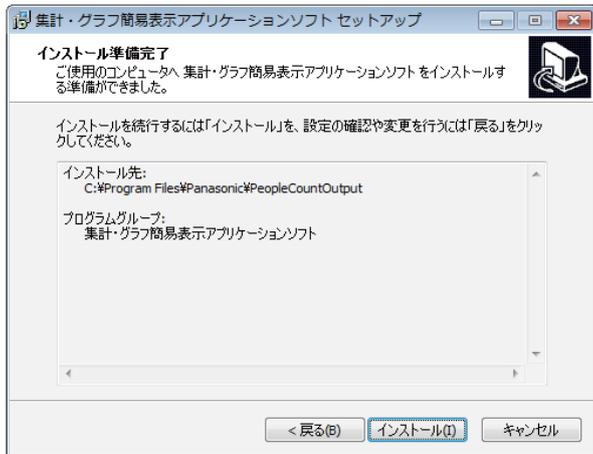


- (6) スタートメニューのショートカット作成先を指定できます。「参照」をクリックすることで異なるフォルダを指定することができます。指定完了後に「次へ」をクリックしてください。

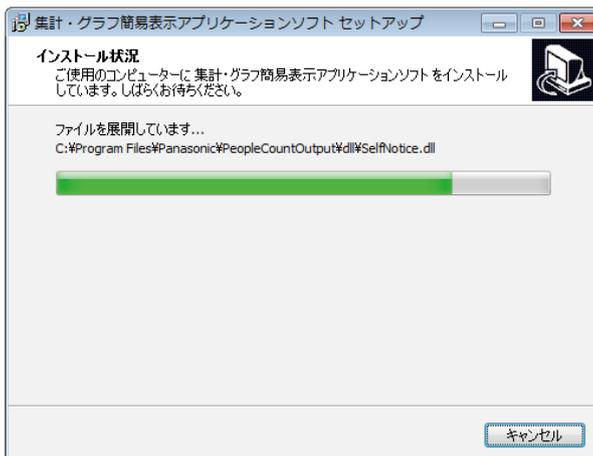


集計・グラフ簡易表示アプリのインストール (つづき)

- (7) 指定したインストール先とプログラムグループに問題が無ければ「インストール」をクリックしてください。



- (8) インストールが完了するまで、お待ちください。



- (9) 最後にデスクトップには「集計・グラフ簡易表示アプリ」のショートカットが作成されます。インストール完了画面で「完了」をクリックするとインストール終了です。



重要

- 過去にアンインストールしたフォルダを指定した場合、設定値が保存されていれば、設定値を引き継ぎます。
- Microsoft Excel がインストールされていない場合、インストール中に警告メッセージが表示されます。インストールされていない場合は帳票出力機能をご利用できません。

アンインストールする

アンインストールする前には、「集計・グラフ簡易表示アプリ」を終了させてください。下記にOSごとのアンインストール手順を記載しています。

<windows7の場合>

- (1) OSのWindowsマークの「スタートボタン」をクリックしてください。
- (2) スタートメニュー右側の「コントロール パネル」をクリックしてください。
- (3) 「プログラム」カテゴリの「プログラムのアンインストール」をクリックしてください。
- (4) プログラム一覧から「集計・グラフ簡易表示アプリケーションソフト V*.**」を右クリックし、「アンインストール」をクリックしてください。

<windows8.1の場合>

- (1) OSのスタートメニューで画面下の「↓」ボタンをクリックしてください。
- (2) アプリ一覧から「集計・グラフ簡易表示アプリケーションソフト V*.**」を右クリックし、「アンインストール」をクリックしてください。

<windows10の場合>

- (1) OSのWindowsマークの「スタートボタン」をクリックしてください。
- (2) スタートメニュー左下に表示されている歯車アイコンの「設定」をクリックしてください。
- (3) 「アプリ」をクリックしてください。
- (4) 「アプリと機能」のプログラム一覧から「集計・グラフ簡易表示アプリケーションソフト V*.**」をクリックし、「アンインストール」をクリックしてください。

重要

- アンインストール時はログを除き、すべてのファイルが削除されます。必要に応じて、アンインストール前にデータのバックアップをおとりください。

集計・グラフ簡易表示アプリのインストール（つづき）

バージョンアップする

バージョンアップする前には、「集計・グラフ簡易表示アプリ」を終了させてください。

バージョンアップ手順はインストール手順とほぼ同様ですが、バージョンアップ時にはインストール場所を指定する必要はありません。また、バージョンアップ時は現在の設定値を引き継ぎます。

手順は「インストールする」(19ページ)を参照してください。

カメラの設置と設定

カメラの設置

「カメラの設置位置を決定する」(☞10ページ) で決めた位置に、対象カメラの取扱説明書にしたがってカメラを設置し、PCのウェブブラウザでカメラと接続してください。

人数カウント簡単設定ツールについて

本ツールは、人数カウントの設定を簡単に行うためのツールです。

本ツールは、以下の機能を持ちます。

お知らせ

- Windowsの表示言語が日本語以外の場合、各画面の表示は英語表示になります。
- 「人数カウント簡単設定ツール」のフォルダーやファイルについては、「その他」の「フォルダーやファイルについて」(☞44ページ)を参照ください。

重要

- 「設定値出力」、「テスト開始」、「保守モード」を実行すると、JPEG画像をPCに保存しますので、取扱に注意してください。保存されるフォルダーについては、「その他」の「フォルダーとファイルについて」(☞44ページ)を参照ください。

簡単設定機能

- カメラの各種設定
各種設定を行う。
 - ・動作検知アラーム - 種別：人数カウント
 - ・撮像モード：魚眼
 - ・設置高さ：2.0 m ~ 4.0 mまでの任意の高さ(0.1 m刻みで選択可能)
 - ・SDメモリーカード：使用する／使用しない
 - ・記録先：SDメモリーカード(4GB以上)／内部メモリー
 - ・情報付加：On
 - ・計測間隔：1時間
- ラインの自動設定
ドアの位置(4方向)を指定することでラインを自動設定する。
 - ・検知エリア領域設定
指定したラインに合わせて人数カウントが有効になる検知エリアを自動生成する。
 - ・マスク領域設定
人数カウントに必要なと考えられるドア部分のマスクを自動生成する。
人数カウントに必要なと考えられる部分のマスク領域を任意に設定する。

テスト機能

- テストモード
テスト歩行を行うことで人物の枠サイズ情報を取得し、大きさ比率の統計情報を計算する。
統計情報より最適な大きさ閾値を算出する。
- テスト結果の参照
テストを行った時間、収集したデータ数、計算した枠比率を参照する。
- 大きさ閾値の設定
テストにて得られた枠比率(大きさ閾値)を設定する。

保守機能

- 保守モード
枠表示Onに設定し、ウェブブラウザのライブ画を自動で開いて枠の状態を確認する。
保守モード終了時には、枠表示Offに設定する。

カメラの設置と設定（つづき）

「カメラ情報インポート」ボタン
 エクスポートした
 カメラ情報ファイルを読み込む

「終了」ボタン
 ツールを終了する

「人数カウント簡単設定ツール」の基本画面

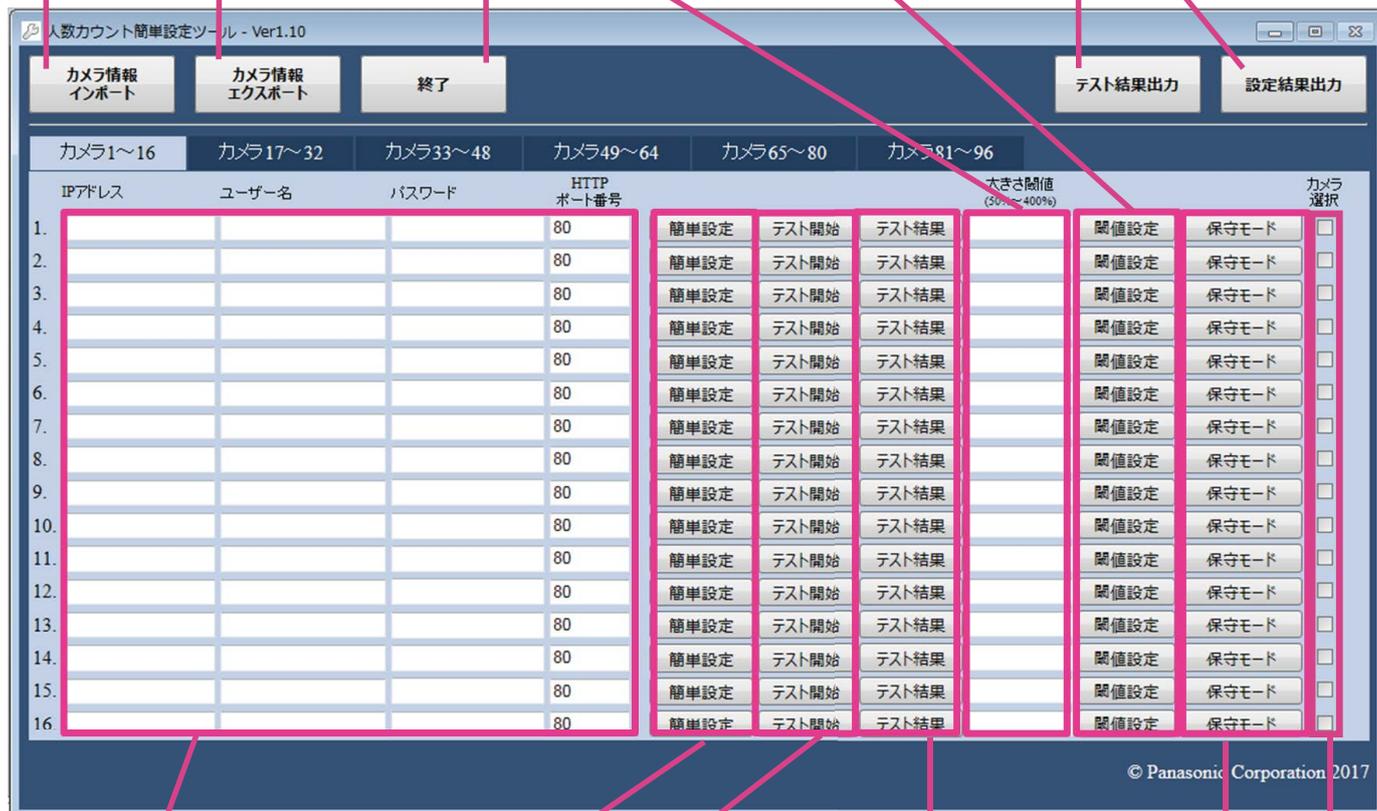
「テスト結果出力」ボタン
 テスト結果をカメラごとに出力する

「カメラ情報エクスポート」ボタン
 ツールに登録されたカメラの情報
 を指定したファイルに出力する

各カメラの大きさ
 閾値を入力する

「閾値設定」ボタン
 入力した大きさ閾値
 をカメラに設定する

「設定結果出力」ボタン
 カメラ設定をカメラごと
 に出力する



簡単設定、テストを実施する
 カメラの情報を設定する

「簡単設定」ボタン
 人数カウント用の設
 定を行う

「テスト開始」ボタン
 大きさ閾値算出のため
 テストモードを開始する

「保守モード」ボタン
 枠表示Onの設定で
 カメラブラウザーを開く

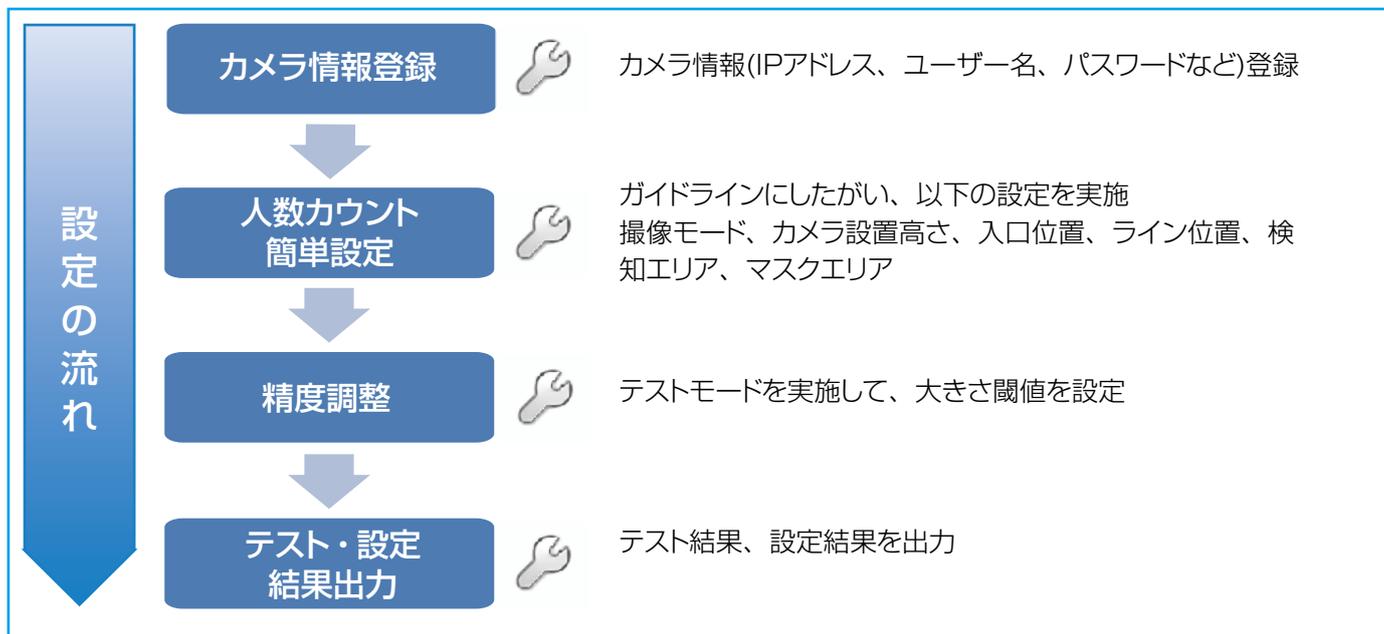
「テスト結果」ボタン
 実施したテストの結果を参照し、
 大きさ閾値を設定する

「テスト結果出力」と「設定結果出力」
 の対象カメラを選択します。

カメラの設置と設定（つづき）

人数カウントの設定を行う

「人数カウント簡単設定ツール」を用いて、以下の設定を行います。



STEP1 「人数カウント簡単設定ツール」の起動

- デスクトップに生成されたショートカット「人数カウント簡単設定ツール」をダブルクリックします。
※多重起動はできません。
- 「人数カウント簡単設定ツール」が起動します。

STEP2 カメラ情報登録

- 人数カウントするすべてのカメラ情報を設定します。
- 17台目以降は、[カメラ17～32] タブを開いて設定します。
最大96台のカメラを登録することができます。
※入力文字制限は、「制約事項/エラーについて」(P.36ページ)を参照してください。

STEP3 カメラ情報エクスポート(インポート)

- [カメラ情報エクスポート] ボタンを押します。
- 名前をつけて保存します。

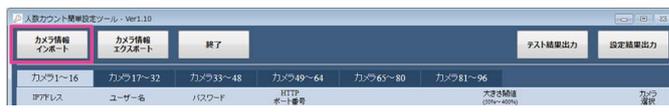


重要

- 設定完了後、エクスポートしたカメラ情報ファイルは、「集計・グラフ簡易表示アプリ」起動時にインポートデータとして活用します。
- 本ツールでインポート可能なカメラ情報ファイルは本ツールでエクスポートしたカメラ情報ファイルのみです。「集計・グラフ簡易表示アプリ」よりエクスポートしたカメラ情報ファイルは本ツールでインポートできません。
- 運用開始後、カメラの設定を変更する場合は、「人数カウント簡単設定ツール」によりエクスポートしたカメラ情報ファイルをインポートしてください。

お知らせ

- 次回起動時、カメラ情報ファイルをインポートする際は以下の手順に従ってください。
 - ① [カメラ情報インポート] ボタンを押します。
※事前に入力したカメラ情報がある場合は削除されますので、インポート実施前にエクスポートを行ってください。
 - ② インポートするファイルを指定し、[開く] ボタンを押します。
 - ③ 大きさ閾値を取得するかどうかのメッセージが表示されるので、[はい] を選択します。
取得できない場合、カメラの接続を確認し、[再試行(R)] を選択します。



カメラの設置と設定 (つづき)

STEP4 人数カウントの簡単設定

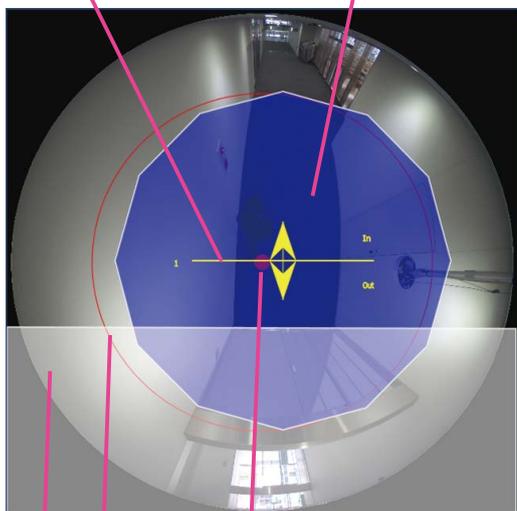
人数カウントの設定をカメラ1台ずつ行います。設定項目の概要は以下のとおりです。

計測用ライン(黄色のライン)

このラインを横切った人数を方向別にカウントします。「人数カウント簡単設定ツール」でラインを設定します。

検知エリア(青色のエリア)

人数カウントが有効な領域です。エリア外は無効です。計測用ラインがこのエリア内にない場合、カウントできません。「人数カウント簡単設定ツール」で自動生成します。



赤丸：画像の中心位置

赤い丸線：ラインの中心が移動できる範囲

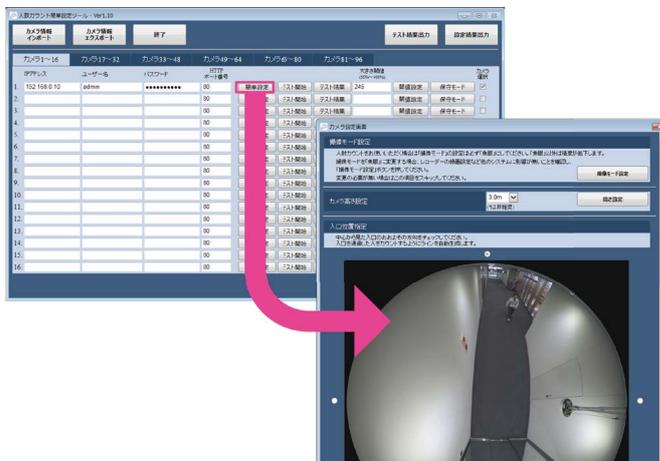
マスクエリア(グレーのエリア)

人数カウントが無効な領域です。最大8エリアまで作成可能です。カウントの邪魔になるような開閉式ドアやベンチなどに設定します。

「人数カウント簡単設定ツール」ではドア位置のマスクのみ自動生成します。

優先順位は、マスクエリア>検知エリアとなります。

(1) 「簡単設定」ボタンを押して、「カメラ設定画面」を表示します。

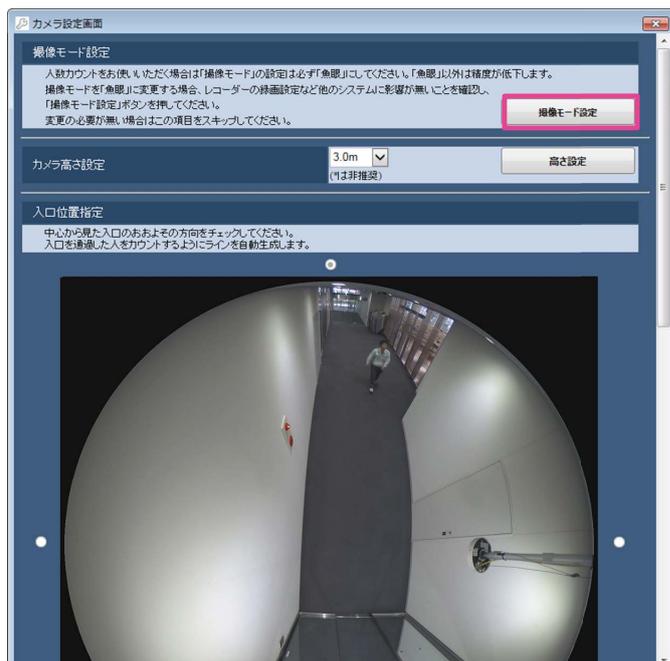


お知らせ

- 「簡単設定」ボタンを押したときのエラー表示については「制約事項/エラーについて」(P.36ページ)を参照してください。
- 「カメラ設定画面」では、上の項目から順に設定し、設定すると次の設定ができるようになります。

(2) 撮像モードを設定します。

本製品は撮像モードを「魚眼」に設定して運用することを推奨しています。撮像モードを「魚眼」に設定する場合は、「撮像モード設定」ボタンを押してください。撮像モードを「魚眼」以外に設定して運用する場合、この設定は省略してください。



カメラの設置と設定 (つづき)

(3) カメラの設置高さを設定します。
カメラの設置高さを選択して、[高さ設定] ボタンを押します。高さ設定と同時に以下の設定が実行されます。

[SDメモリーカード (4GB 以上) 挿入時]

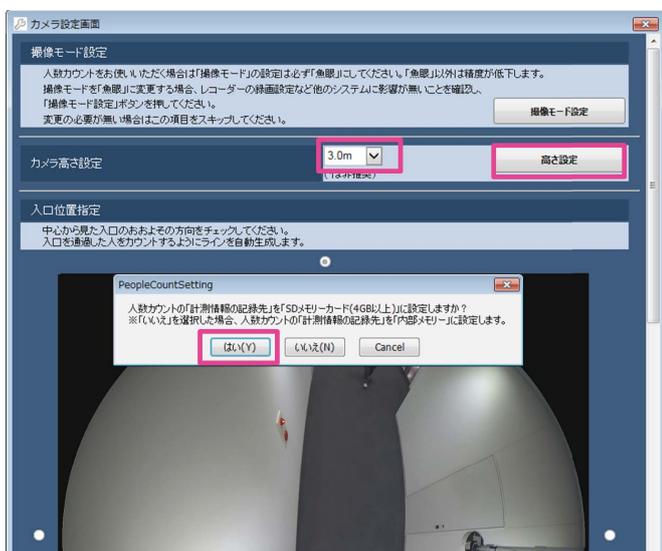
※記録期間は約3か月です。

- 情報付加: On
- SDメモリーカード: 使用する
- 情報の記録先: SDメモリーカード (4GB以上)

[SDメモリーカード未挿入時]

※記録期間は約1日です。

- 情報付加: On
- 情報の記録先: 内部メモリー



(4) 入口位置指定/ラインを設定します。
店舗内から見たときの入口方向をラジオボタンで1か所だけ選択してください。[ライン自動生成] ボタンを押すと、画像に黄色のラインが表示されます。ライン生成後にラインの長さを調整します。ラインの端点をドラッグすると長さを変更することができます。

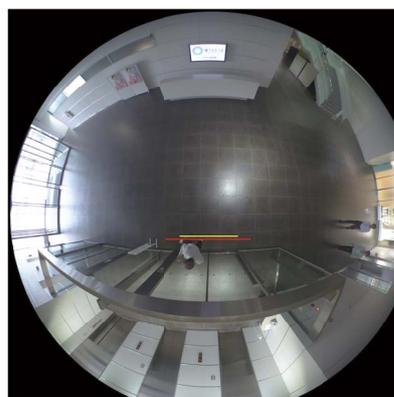


重要

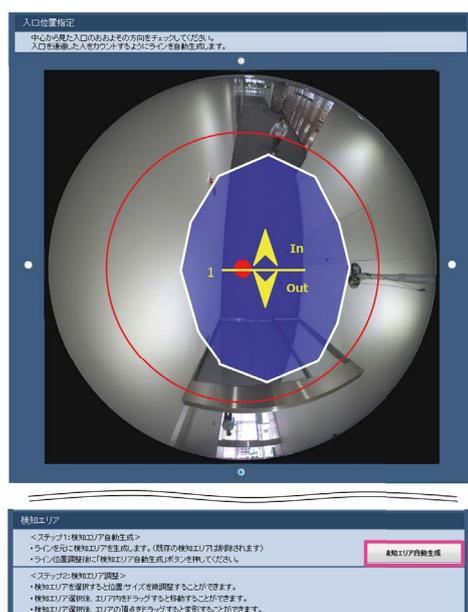
- ラインの長さはドア幅を目安に調整します。
- ラインの回転や平行移動も可能ですが、初期位置を推奨しています。

[ライン長さ調整例]

ラインを垂直に入店/退店しない人が多い場合、ドア幅のライン(黄色)に対して下の画像のライン (赤色)のように長めに引きます。ライン端に人が通れない壁や障害物があればドア幅より長めに引くことでカウント漏れを軽減できます。



(5) 検知エリアを設定します。
[検知エリア自動生成] ボタンを押すと、画像に青色の検知エリアが表示されます。検知エリアの各頂点をクリックした後、画像上でマウスをドラッグすることで調整できます。



重要

- エリアの平行移動も可能ですが、初期位置を推奨しています。

カメラの設置と設定（つづき）

(6) マスクエリアを設定します。

出入口にドアがある場合、[ドアマスク自動生成] ボタンを押すと、画像に灰色のマスクエリアが表示されます。(自動ドア、スライドドアの場合やドアがない場合、この手順は不要です)

また、以下の手順でベンチや案内所、エスカレーターなどの精度に影響しそうな箇所にマスクを追加します。

① [四角形マスク] または [多角形マスク] ボタンを押してマスクエリアを追加します。

 「四角形マスク」を選択した場合
マスクエリアを追加したい場所でクリック&ドラッグして作成します。

 「多角形マスク」を選択した場合
任意の形になるように頂点を複数クリックして作成します。始点と終点を結ぶことによって、エリアの描画を完了します。(頂点の上限は16点)

②追加が完了したら、①で選択したボタンを再度クリックしてください。

※この操作を実行しないと、他のマスクエリアを再度選択することができません。

お知らせ

- マスクエリアを削除するときは、削除したいマスクエリアを選択し、「削除」ボタンを押します。
- マスクエリアを設定する場合、マスクエリアからラインまでの距離が1.5 m以上になるように設置してください。

(例) マスクエリア

以下にマスクエリア追加例を記載しています。

- カフェ店内や休憩スペース、ベンチなどの人が集まる箇所
- 人の動きの多い店内
通路を歩くカウント対象者の体の一部がマスク領域に入らないように、通路側を少し空けます。
- エスカレーター
- ショッピングカート置き場

(7) 設定を反映します。

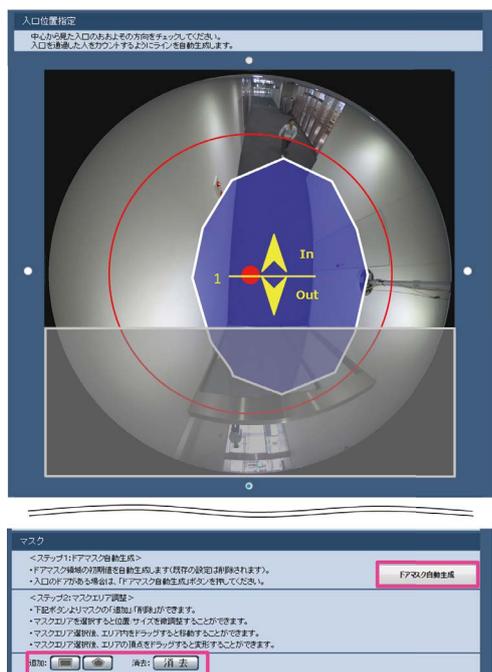
すべての設定が終わったら、[設定] ボタンをクリックします。

※この操作を実行しないと、(5)～(7)の設定がカメラに反映されません。

設定が正しく完了すると、「カメラ設定画面」は自動的に閉じます。設定を反映せずに「カメラ設定画面」を閉じたい場合は画面上部の [×] をクリックしてください。

お知らせ

- 「人数カウント簡単設定ツール」で検知エリアを設定すると、既存の検知エリアは削除されます。
- 「人数カウント簡単設定ツール」でマスクエリアを設定すると、既存のマスクエリアは削除されます。



カメラの設置と設定 (つづき)

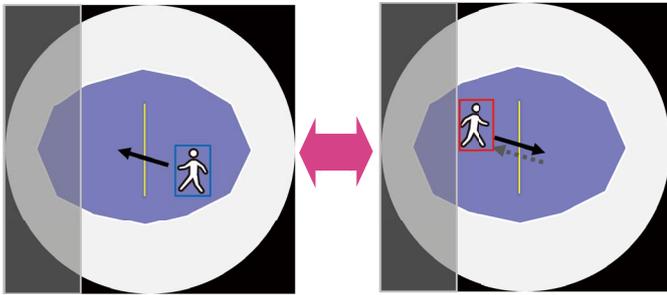
STEP5 大きさ閾値* 決定のためのテストモードを実施

※テストモードは大きさ閾値を決めるテストです。
 ※大きさ閾値とはカメラを設置している環境で、1人とカウントする画像中の人の大きさを指します。

カメラの設置高さや環境によって大きさ閾値は変わるため、実際にカメラが設置された環境でテスト歩行し、大きさ閾値を確認します。

(1) テストモードの事前準備をします。
 テストモードについて以下に説明します。

- ①テスト方法
 - ・データ収集者と歩行者の2人1組で行います。
- ②歩行ルート



- ・計測用ラインの前後を往復します。
- ・マスク領域より前で折り返し、検知エリア内(枠が付いている範囲)を往復します。

<「①テスト方法」での注意事項>

- ・歩行者は床の色と同系色でなく、かつ上下が同系色の服装にしてください。
- ・テスト歩行者は靴を含み身長160～175 cmの人物を推奨します。
- ・大きな荷物を持ったり手を伸ばした状態で歩かないでください。
- ・歩行者の少ない時間帯（基本は営業時間外）での実施を推奨します。
- ・営業時間外に行う場合、撮影範囲内すべての配置・照明環境を営業時間中と同じにして実施してください。
- ・朝日や夕日、直射日光が差しこむ時間帯は避けてください。
- ・事前にテストモードを実行し、本ツールのライブ画で歩行ルート(「②歩行ルート」参照)や枠の付き方(下図参照)をチェックしてください。

1人枠OKパターン			
全身	頭や足元が少し欠ける	斜め方向	影あり

1人枠NGパターン	
枠無し	複数枠が付く
	 極端に小さい枠は排除するが、きれいな枠が付かなければ正確なデータが集まらない。
荷物を持っている	ガラスなどに移りこんでしまう
	 ガラスなどに映りこんだ姿にも枠が付いてしまったり、枠が大きくなりすぎたりする。
1人の大きさとして不適切。	

<「②歩行ルート」での注意事項>

- ・ドアがある場合は、ドア前で折り返します。検知エリア外に出てしまうと、往復のたびに枠が消え、データ収集に時間がかかります。
- ・入口から計測用ラインを越えた後、複数の動線がある場合、もしくはドアが複数ある場合、一番人通りが多いルートを1～2つ選んで均等に往復します。
- ・なるべく同じルートを同じスピードで、計測用ラインと垂直にまっすぐ歩きます。
- ・テスト歩行の途中で立ち止まらないでください。
- ・パーティションや棚などで体の一部が隠れてしまうルートは通らないでください。
- ・テスト歩行者以外が通過したらテストを中断し、もう一度やり直してください。
- ・テスト中、照明を変更したりシャッターを開け閉めしたりするなど、画像の状態が大きく変化した場合は背景の学習をしますので、3分ほど待ってからテスト歩行を再開してください。
- ・テスト開始前に通過ルート上に1分以上立ち止まらないでください。
- ・テスト歩行前には、検知エリア外（枠が付かない位置）で待機します。

カメラの設置と設定 (つづき)

- (2) テストモードを実行します。
以下、データ収集者をA、歩行者をBとします。

カメラID	カメラIP	カメラユーザ名	カメラパスワード	カメラIPポート番号	カメラ向き	カメラ向き調整	カメラ向き調整	カメラ向き調整	カメラ向き調整	カメラ向き調整
カメラ1~16	カメラ17~32	カメラ33~48	カメラ49~64	カメラ65~80	カメラ81~96					
IPアドレス	ユーザ名	パスワード	カメラ向き	カメラ向き	カメラ向き	カメラ向き	カメラ向き	カメラ向き	カメラ向き	カメラ向き
1. 192.168.0.10	admin	*****	00	00	00	00	00	00	00	00
2.			00	00	00	00	00	00	00	00
3.			00	00	00	00	00	00	00	00
4.			00	00	00	00	00	00	00	00

- ①Aは、「人数カウント簡単設定ツール」の「テスト開始」ボタンを押します。本ツールのライブ画が表示されます。
※「テスト開始」ボタンを押したときのエラー表示については「制約事項／エラーについて」(P.36ページ)を参照してください。
※赤枠は人数カウント済みで、青枠は動きを検知した対象物です。
※テストモードでは赤枠の情報を収集して大きさ閾値を算出します。

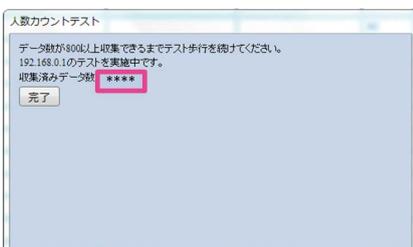
お知らせ

- テストモードを安定させるため、カメラにウェブブラウザで接続しないでください。

- ②テストモード用にカメラの設定を変更します。テスト実施の際、カメラの推奨設定を行うことで短時間で計測を行います。設定変更しない場合でもテストは実施できます。(変更あり：約1分半、変更なし：約3分)
※下記設定はストリームの監視映像の配信が停止するため、既設カメラを使う場合はご注意ください。
「はい」を選択した場合、テスト中のみ以下の設定を行います。(テストが終了すると、自動で設定を戻すことができます。)
•ストリーム(1)：Off
•ストリーム(2)：Off
•JPEG更新速度：10 fps



- ③テスト開始後、Aは「収集済みデータ数:****」が表示されることを確認します。
※****には収集済みのデータ数が表示されます。
④AはBに歩行開始の指示を送ります。



- ⑤Aは、ライブ画に表示された枠の状態を見ながら収集済みデータ数を確認します。



- ⑥収集済みデータ数が800を超えるまで歩行を繰り返します。数値の更新が遅い場合、以下をチェックします。
•枠は常に赤色になっていますか？
→枠がラインを横切っていない場合は、ラインの位置や長さを調整します。
→枠が折り返し地点で小さくなったり消えてしまったりする場合は、枠が全身につく位置で折り返すようBに指示を送ります。
•ドアがある場合／ドアマスクを設定している場合
→枠がドア地点より手前側(ライン側)で消えている場合は、ドアマスクを変更します。
•枠は全身についていますか？
→「(1) テストモード事前準備をします。」の「<「①テスト方法」での注意事項>」(P.28ページ)を確認してください。
⑦収集済みデータ数が800を超えたら、Aは「完了」ボタンを押し、テストを終了します。



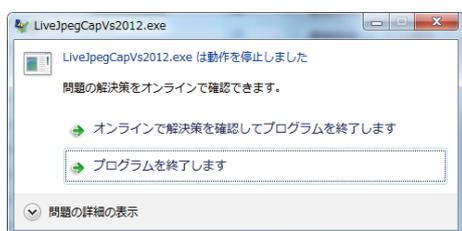
- ⑧AはBに歩行終了の指示を送ります。
⑨カメラの設定を変更した場合は、ダイアログボックスが表示されますので、元の設定値に戻してください。



カメラの設置と設定 (つづき)

お知らせ

- テスト開始時にエラーが発生してしまった場合、以下の画面が表示されることがありますが、20秒程度で画面が消えるため、お待ちください。その後「ライブストリーミングを開始できません。」と表示された場合、[OK] を選択し、テストを一度中止してください。テストを再開する前に、カメラのライブ画を開いていないか確認し、テストを再開してください。続けてテストに失敗した場合は、カメラと「人数カウント簡単設定ツール」を再起動してください。



- ツールが強制終了してしまった場合
再度「人数カウント簡単設定ツール」を起動し、「カメラ情報エクスポート」で保存したカメラ情報をインポートしてください。
※カメラ情報インポートについては、「STEP3 カメラ情報エクスポート(インポート)」(p.24 ページ) を参照してください。

STEP6 テスト結果を大きさ閾値に反映

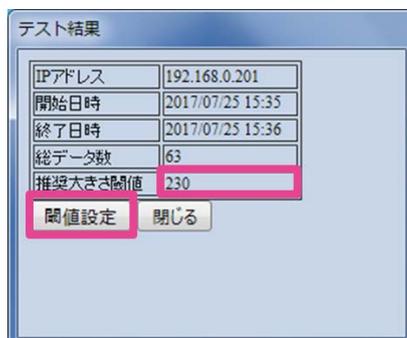
(1) 「テスト結果」ボタンを押します。



(2) 表示したいテスト結果の日時を選択し、「OK」ボタンを押すとテスト結果が表示されます。



(3) 「推奨大きさ閾値」の値を確認します。
値が50～400の範囲内であれば「閾値設定」ボタンを押し、カメラに大きさ閾値を設定します。



(4) 設定が完了したら、「閉じる」ボタンを押します。

お知らせ

- 基本画面で大きさ閾値を直接入力し、「閾値設定」ボタンを押すことで、任意の大きさ閾値を設定することが可能です。
下記の例の場合には、大きさ閾値の調整を行ってください。
(例1) 2人が1人とカウントされる場合
大きさ閾値が大きすぎる可能性があるため、現在の値よりも小さい値を設定してください。
(例2) 1人が2人とカウントされる場合
大きさ閾値が小さすぎる可能性があるため、現在の値よりも大きい値を設定してください。

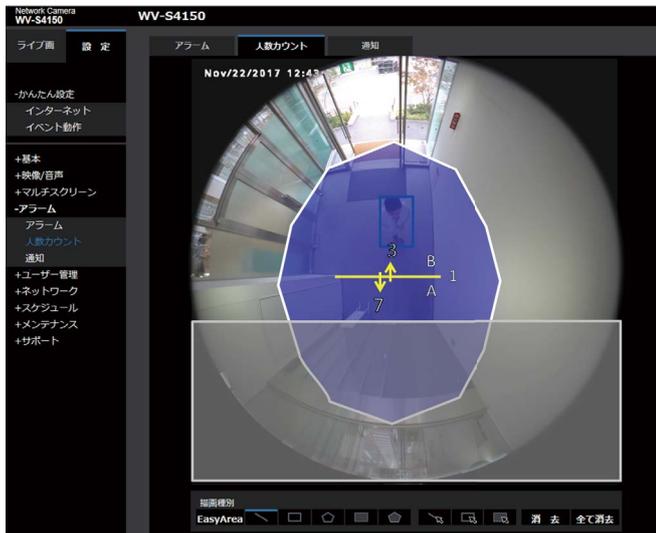


カメラの設置と設定 (つづき)

STEP7 動作確認

(1) 「保守モード」ボタンを押すと、カメラのライブ画をウェブブラウザで表示します。
保守モード中は、ウェブブラウザのライブ画に枠が表示されます。
マスクエリアや検知エリアの状態も同時に確認したい場合はウェブブラウザを使用して下の設定画面で確認してください。

※「設定」⇒「アラーム」⇒「人数カウント」⇒ライン/エリア「設定へ>>」
「人数カウント」設定画面については、「カメラの人数カウント設定画面について」(P.33ページ)を参照してください。



- (2) 1人でラインをまたぐように歩行します。
事前に確認したカウント対象者の動線および周辺を通過する人物の動線を参考に歩行します。
- (3) 「カウント値」が正常にカウントアップされることを確認します。
※確認歩行は、検知エリアの外まで歩くようにしてください。
※正しくカウントされない場合には、「大きさ閾値」を直接入力し、「閾値設定」で調整してください。(P.30ページを参照)
※1人で歩行して確認した後、2人で横に並んだ状態で同様に歩行し、確認することを推奨します。
- (4) 確認が完了したら「OK」ボタンを押し、保守モードを終了します。
保守モードを終了すると、カメラのライブ画で枠が表示されなくなります。

保守モードを終了する場合は「OK」ボタンをクリックして下さい。

OK

STEP8 テスト結果出力

複数のカメラのテスト結果を一括で出力することができます。出力データ (Results_YYYYMMDDhhmmss) には各カメラでテストした結果 (枠の統計情報やテスト結果で表示される情報) が含まれます。



- (1) テスト結果を出力するカメラの「カメラ選択」チェックボックスをチェックします。
- (2) 「テスト結果出力」ボタンを押します。
- (3) 保存先フォルダを指定して保存します。
※「テスト結果出力」ボタンを押したときのエラー表示については、「制約事項/エラーについて」(P.36ページ)を参照してください。

STEP9 設定結果出力

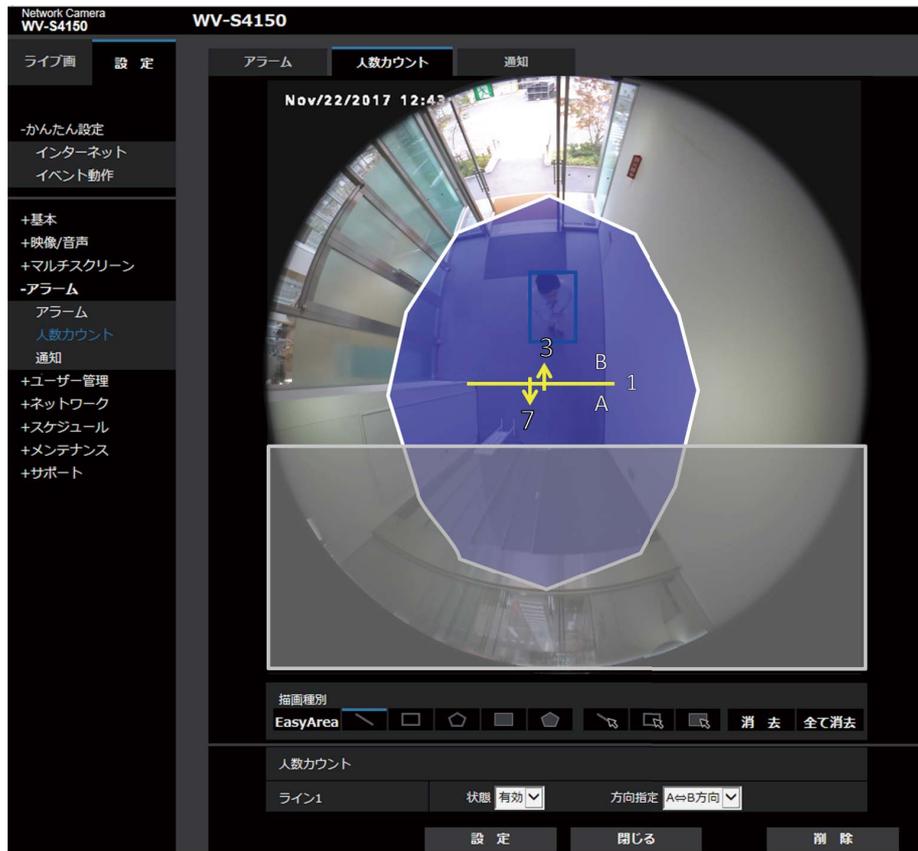
カメラの設定値を出力することができます。出力データ (Settings_YYYYMMDDhhmmss) には、各カメラのキャプチャ画像、設定された大きさ閾値、カメラ設定データが含まれます。カメラ設定データをカメラにリストアする場合は「保守について」(P.35ページ)を参照してください。



- (1) 設定結果を出力するカメラの「カメラ選択」チェックボックスをチェックします。
- (2) 「設定結果出力」ボタンを押します。
- (3) 保存先のフォルダを指定し保存します。
※「設定結果出力」ボタンを押したときのエラー表示については、後述の「制約事項/エラーについて」(P.36ページ)を参照してください。

カメラの人数カウント設定画面について

ウェブブラウザからカメラの人数カウントの設定をする方法は以下のとおりです。



STEP1

人数カウントを行うためのラインを設定します。「描画種別」の「ライン設定」アイコンをクリックし、画像上でマウスをドラッグしてラインを設定します。（設定できるラインは1本までです。）ラインを設定するとラインの「状態」が「有効」になります。

お知らせ

- ラインを移動するときは「描画種別」の「ライン設定（選択）」アイコンをクリックしマウスでライン描画をドラッグします。
- ラインの端点をドラッグすると長さを変更することができます。
- ラインを消去するときは、「描画種別」の「ライン設定（選択）」アイコンをクリックし、マウスで画像上のラインを選択してから「消去」ボタンをクリックします。
- [全て消去] ボタンをクリックすると、設定したラインと検知エリアとマスクエリアをすべて消去します。
- 設定できるラインはライン1のみです。ライン2～12は設定できません。

STEP2

設定したラインで人数カウントを行うかどうかの「状態」を有効／無効で設定します。ラインの「状態」を「無効」に変更すると、無効になったラインが点線になります。無効に設定すると、人数カウントを行いません。

有効：人数カウントを行います。

無効：人数カウントを行いません。

初期設定：無効

STEP3

人数カウントを行う場合の「方向指定」を設定します。Uターンカウントを計測する場合は必ず「A⇔B方向」に設定してください。

A→B方向／B→A方向／A⇔B方向

初期設定：A→B方向

カメラの設置と設定（つづき）

STEP4

検知エリアを設定します。

検知エリアは8か所まで設定できます。

[EasyArea]ボタンをクリックすることで、ライン1の状態に適した検知エリアを設定することができます。

お知らせ

- [EasyArea]ボタンをクリックすると既存の検知エリア設定は削除されます。

検知エリアを自由に設定する場合、「描画種別」の「検知エリア（四角形）」、または「検知エリア（多角形）」のアイコンをクリックして、描画形式を選択します。

「検知エリア（四角形）」の場合

画像上でマウスをドラッグして四角形のエリアを設定します。

「検知エリア（多角形）」の場合

画像上で頂点を指定して多角形のエリアを設定します。終点を始点と結ぶことによって、エリアの描画を完了します。（頂点の上限は16点）

お知らせ

- 枠を移動するときは、「描画種別」の「検知エリア（選択）」アイコンをクリックし、マウスで枠内をクリック&ドラッグします。また、枠の頂点をドラッグすると、大きさ（長さ）や形^{*1}を変更することができます。
※1 検知エリア（多角形）を描画した場合
- 枠を消去するときは、「描画種別」の「検知エリア（選択）」アイコンをクリックし、マウスで画像上の検知エリアを選択してから [消去] ボタンをクリックします。
- [全て消去] ボタンをクリックすると、設定したラインと検知エリアとマスクエリアをすべて消去します。
- 「人数カウント簡単設定ツール」で検知エリアを設定すると、既存の検知エリアは削除されません。

STEP5

マスクエリアを設定します。マスクエリアは8か所まで設定できます。設定したマスクエリア内では、人物の検出は行われません。

「描画種別」の「マスクエリア（四角形）」または「マスクエリア（多角形）」のアイコンをクリックして、描画する枠の形を選択します。

「マスクエリア（四角形）」の場合

画像上でマウスをドラッグして四角形のエリアを設定します。

「マスクエリア（多角形）」の場合

画像上で頂点を指定して多角形のエリアを設定します。終点を始点と結ぶことによって、エリアの描画を完了します。（頂点の上限は16点）

お知らせ

- 枠を移動するときは、「描画種別」の「マスクエリア（選択）」アイコンをクリックしマウスでドラッグします。また、枠の頂点をドラッグすると、大きさ（長さ）や形^{*1}を変更することができます。
※1 マスクエリア（多角形）を描画した場合
- 枠を消去するときは、「描画種別」の「マスクエリア（選択）」アイコンをクリックし、マウスで画像上のマスクエリアを選択してから [消去] ボタンをクリックします。
- [全て消去] ボタンをクリックすると、設定したラインと検知エリアとマスクエリアをすべて消去します。

STEP6

設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックして設定した内容を保存します。

[設定] ボタンをクリックせずに [閉じる] ボタンをクリックすると、設定した内容は保存せずに、人数カウント設定ページに戻ります。

設定した内容を保存する場合は、[設定] ボタンをクリックしてから、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- [削除] ボタンをクリックすると、現在表示中の内容をすべて消去して、初期設定状態に戻ります。削除処理を実行する前に、確認ダイアログが表示されますので、実行する場合は [OK] ボタンをクリックしてください。

カメラの設置と設定（つづき）

保守について

ここでは「人数カウント簡単設定ツール」の「設定結果出力」で出力したカメラの設定をリストアする方法について説明します。

ウェブブラウザから設定を行います。

(1) 「設定」メニュー - 「メンテナンス」ページを開きます。

(2) [データ]タブを開きます。

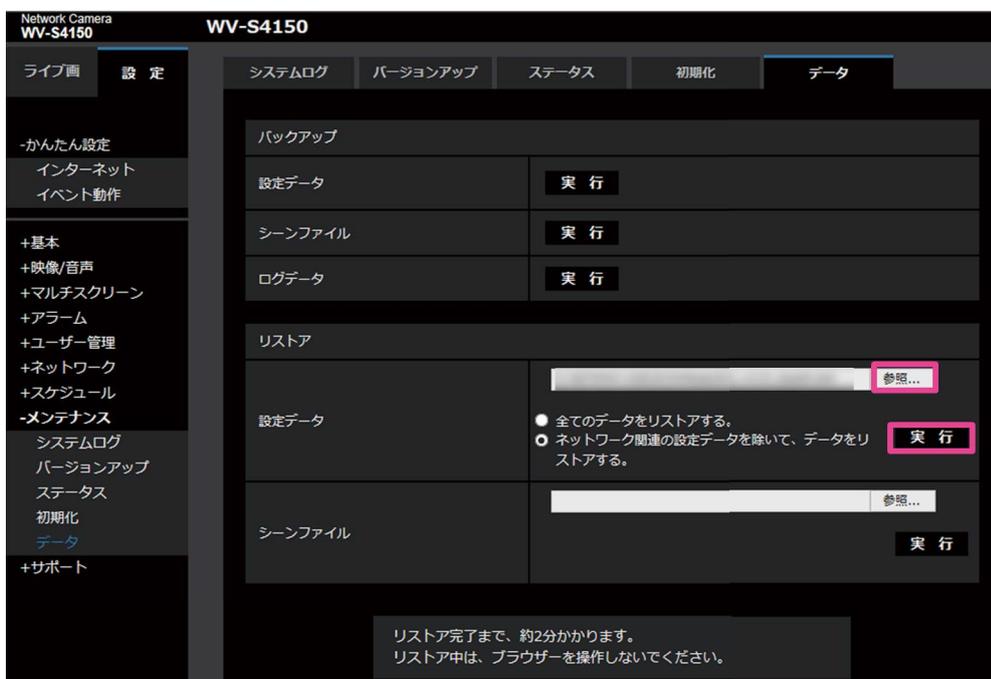
(3) 「リストア」の「設定データ」の[参照]ボタンを押します。

(4) リストアしたい設定ファイルを指定した後、[開く]ボタンを押します。

設定ファイルは「設定結果出力」で出力したフォルダから、リストアしたいカメラのIPアドレスのフォルダに入り、setupdata.datを指定してください。

(5) [実行]ボタンを押します。

ラジオボタンは2つの内どちらを選択しても問題ありません。



カメラの設置と設定（つづき）

制約事項／エラーについて

「人数カウント簡単設定ツール」の入力文字制限は以下のとおりです。

項目	入力可能文字	最大文字数	入力制限文字	備考
IPアドレス	「0」～「9」「.」	15	—	—
ユーザー名	半角英数字、記号	32	「"」「&」「:」「 」「¥」	—
パスワード	半角英数字、記号	32	「"」「&」	4文字以上
HTTPポート番号	「0」～「9」	5	—	初期値は80

「カメラ情報エクスポート」におけるエラーメッセージ一覧と対策方法は以下のとおりです。

メッセージ	原因	対策
ファイルが書き込めません。	書き込み先のフォルダが書き込み禁止になっている。	書き込み許可されているフォルダを指定する。
カメラ情報に未記入の項目があります。処理を中断します。	IPアドレスが入力されていない。	IPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号が入力されていない。	HTTPポート番号を入力する。
	ユーザー名が入力されていない。	ユーザー名を入力する。
	パスワードが入力されていない。	パスワードを入力する。
アドレスが重複しています。	複数か所に同じアドレスが入力されている。	アドレスが重複しないように入力する。
入力内容に誤りがあります。再度入力してください。	IPアドレスの記入方法に誤りがある。	正しいIPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号の記入方法に誤りがある。	正しいHTTPポート番号を入力する。
	ユーザー名の記入方法に誤りがある。	正しいユーザー名を入力する。
	パスワードの記入方法に誤りがある。	正しいパスワードを入力する。

「カメラ情報インポート」におけるエラーメッセージ一覧と対策方法は以下のとおりです。

メッセージ	原因	対策
ファイルが見つかりません。	存在しないファイル名を指定している。	存在するファイル名を指定する。
ファイルが不正です。	カメラ情報ファイルが変更されている。	エクスポート時から変更が加えられていないカメラ情報ファイルを指定する。
	カメラ情報ファイルではない。	カメラ情報ファイルを指定する。
このファイルを開くアクセス許可がありません。	ファイルの読み取りが禁止されている。	ファイル読み取りの禁止を解除する。
人数カウント用拡張ソフトが導入されていません。	WV-SAE303Wがインストールされていない。	WV-SAE303Wをインストールする。
ユーザー名／パスワードが違います。	インポートファイルに記録されていたユーザー名／パスワードに誤りがある。	大きさ閾値取得処理を中断し、ユーザー名／パスワードに正しい値を入力する。 また、エクスポート後に再度、インポートして大きさ閾値を取得する。
・カメラと接続できません。 ・不明なエラーが発生しました。	対象のカメラと接続されていない。	対象のカメラと接続する。
	IPアドレスに誤りがある。	正しいIPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号に誤りがある。	正しいHTTPポート番号を入力する。
「集計・グラフ簡易表示アプリケーションソフト」で作成されたファイルであるため、インポートできません。	インポートファイルが「集計・グラフ簡易表示アプリケーションソフト」で作成されたファイルであるため。	「人数カウント簡単設定ツール」でエクスポートされたファイルをインポートする。

カメラの設置と設定（つづき）

「簡単設定」におけるエラーメッセージ一覧と対策方法は以下のとおりです。

メッセージ	原因	対策
カメラ情報に未記入の項目があります。処理を中断します。	IPアドレスが入力されていない。	IPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号が入力されていない。	HTTPポート番号を入力する。
	ユーザー名が入力されていない。	ユーザー名を入力する。
	パスワードが入力されていない。	パスワードを入力する。
<ul style="list-style-type: none"> カメラと接続できません。 不明なエラーが発生しました。 	IPアドレスに誤りがある。	正しいIPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号に誤りがある。	正しいHTTPポート番号を入力する。
	PCがカメラのネットワークに接続されていない。	PCをカメラのネットワークに接続する。
ユーザー名/パスワードが違います。	ユーザー名に誤りがある。	正しいユーザー名を入力する。
	パスワードに誤りがある。	正しいパスワードを入力する。
人数カウント用拡張ソフトが導入されていません。	WV-SAE303Wがインストールされていない。	WV-SAE303Wをインストールする。
カメラの高さ設定が不正な値です。	カメラ高さがサポート外の値になっている。	カメラ高さをサポート内の値に設定する。 ※サポート外の高さで運用する場合は、カメラからライン・マスク設定を行ってください。
入力内容に誤りがあります。再度入力してください。	IPアドレスの記入方法に誤りがある。	正しいIPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号の記入方法に誤りがある。	正しいHTTPポート番号を入力する。
	ユーザー名の記入方法に誤りがある。	正しいユーザー名を入力する。
	パスワードの記入方法に誤りがある。	正しいパスワードを入力する。
ライン1の中間座標が画面の端に設定されているため、画面に重畳しません。	カメラに設定されているライン1の中間座標が画面端に設定されている。	<p><検知エリアやマスクエリアが初期化されても問題ない場合> 簡単設定画面で最初からライン・検知エリア・マスクエリアを設定する。</p> <p><検知エリアやマスクエリアが初期化されて問題がある場合> カメラブラウザの「設定」→「アラーム」→「人数カウント」→ライン/エリアの「設定へ>>」でライン1の座標を画面の中心付近に移動・設定する。</p>
検知エリア1は本ツールのサポートしている角数（12角形）ではないので、画面に重畳しません。	カメラに設定されている検知エリアの角数がサポートしている角数ではない。	<p><マスクエリアが初期化されても問題ない場合> 簡単設定画面で検知エリア・マスクエリアを設定する。</p> <p><マスクエリアが初期化されて問題がある場合> カメラブラウザの「設定」→「アラーム」→「人数カウント」→ライン/エリアの「設定へ>>」でEasyAreaボタンをクリックし、検知エリアを生成・設定。</p>

カメラの設置と設定（つづき）

メッセージ	原因	対策
SDメモリカードを「使用する」に設定できませんでした。	カメラの他の設定によりSDメモリカードを「使用する」に設定できない。	カメラブラウザの「設定」→「基本」→「SDメモリーカード」から、SDメモリーカードを「使用する」に設定する。
SDメモリーカードをフォーマット中なので、計測情報の記録先設定を中断します。	カメラのSDメモリーカードがフォーマット中である。	フォーマットが完了後に再度「高さ設定」を実行する。
SDメモリーカードをチェックディスク中なので、計測情報の記録先設定を中断します。	カメラのSDメモリーカードがチェックディスク中である。	チェックディスクが完了後に再度「高さ設定」を実行する。
SDメモリカードを認識できなかったため、「計測情報の記録先」を「内部メモリー」に設定します。	カメラのSDメモリーカードが認識できなかった。	正常なSDメモリーカードを挿入後に再度「高さ設定」を実行する。

カメラの設置と設定（つづき）

「テスト開始」におけるエラーメッセージ一覧と対策方法は以下のとおりです。

メッセージ	原因	対策
カメラ情報に未記入の項目があります。処理を中断します。	IPアドレスが入力されていない。	IPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号が入力されていない。	HTTPポート番号を入力する。
	ユーザー名が入力されていない。	ユーザー名を入力する。
	パスワードが入力されていない。	パスワードを入力する。
<ul style="list-style-type: none"> カメラと接続できません。 不明なエラーが発生しました。 	IPアドレスに誤りがある。	正しいIPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号に誤りがある。	正しいHTTPポート番号を入力する。
	PCがカメラのネットワークに接続されていない。	PCをカメラのネットワークに接続する。
ユーザー名/パスワードが違います。	ユーザー名に誤りがある。	正しいユーザー名を入力する。
	パスワードに誤りがある。	正しいパスワードを入力する。
人数カウント用拡張ソフトが導入されていません。	WV-SAE303Wがインストールされていない。	WV-SAE303Wをインストールする。
人数カウント設定が有効になっていません。	人数カウント設定が有効になっていない	「簡単設定」を実行する。
ツールを置いているフォルダの空き容量が足りないため、テストを中止します。	本ツールを置いているドライブの空き容量が少ない。	本ツールを置いているドライブの空き容量を100 MB以上にする。
通信用ライブラリの初期化に失敗しました。	JPEG画像取得用の通信ライブラリの初期化に失敗している。	「人数カウント簡単設定ツール」を再インストールする。
前回のテストの終了処理中です。	前回のテスト終了処理中である。	記載された秒数の後に再度テスト開始が可能。
対象の機器は、当該アプリのサポート対象外の機器です。	WV-SAE303Wのサポート外のカメラが接続されている。	WV-SAE303Wでサポートされているカメラを接続する。
以下のカメラの設定を変更できませんでした。	カメラブラウザの「設定」→「基本」→「SDメモリーカード」→「録画圧縮方式」でストリームが選択されている。	カメラブラウザの「設定」→「基本」→「SDメモリーカード」→「録画圧縮方式」をJPEGに変更する。
ライブストリーミングを開始できません。	テストに利用するJPEG画像取得開始に失敗している。	カメラと「人数カウント簡単設定ツール」を再起動する。
ライブ映像の検知枠重畳設定をテスト開始前の状態に戻せませんでした。	テスト完了時にカメラと通信に失敗した。	カメラとの接続を確認し、再度テストを開始する。
カメラの設定をテスト開始前に戻せませんでした。	テスト完了時にカメラと通信に失敗した。	カメラとの接続を確認し、本メッセージの下の行に表示されているファイルを参照して、記載されているCGIコマンドをウェブブラウザに入力・実行し、カメラ設定を修正する。

カメラの設置と設定（つづき）

「テスト結果」におけるエラーメッセージ一覧と対策方法は以下のとおりです。

メッセージ	原因	対策
テストが実施されていません。	対象のIPアドレスのカメラで一度もテストが実施されていない。	「テスト開始」を実行する。
カメラ情報に未記入の項目があります。処理を中断します。	IPアドレスが入力されていない。	IPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号が入力されていない。	HTTPポート番号を入力する。
	ユーザー名が入力されていない。	ユーザー名を入力する。
	パスワードが入力されていない。	パスワードを入力する。
入力内容に誤りがあります。再度入力してください。	IPアドレスの記入方法に誤りがある。	正しいIPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号の記入方法に誤りがある。	正しいHTTPポート番号を入力する。
	ユーザー名の記入方法に誤りがある。	正しいユーザー名を入力する。
	パスワードの記入方法に誤りがある。	正しいパスワードを入力する。
人数カウント用拡張ソフトが導入されていません。	WV-SAE303Wがインストールされていない。	WV-SAE303Wをインストールする。
ユーザー名/パスワードが違います。	ユーザー名/パスワードに誤りがある。	大きさ閾値設定処理を中断し、ユーザー名/パスワードに正しい値を入力する。
<ul style="list-style-type: none"> カメラと接続できません。 不明なエラーが発生しました。 	対象のカメラと接続されていない。	対象のカメラと接続する。
指定された値が設定可能な範囲外です。	大きさ閾値に設定できる値の範囲外の値が指定されている。	再度「テスト開始」を実行する。

「閾値設定」におけるエラーメッセージ一覧と対策方法は以下のとおりです。

メッセージ	原因	対策
カメラ情報に未記入の項目があります。処理を中断します。	IPアドレスが入力されていない。	IPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号が入力されていない。	HTTPポート番号を入力する。
	ユーザー名が入力されていない。	ユーザー名を入力する。
	パスワードが入力されていない。	パスワードを入力する。
入力内容に誤りがあります。再度入力してください。	大きさ閾値の記入方法に誤りがある。	大きさ閾値を数値で記入する。
	IPアドレスの記入方法に誤りがある。	正しいIPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号の記入方法に誤りがある。	正しいHTTPポート番号を入力する。
	ユーザー名の記入方法に誤りがある。	正しいユーザー名を入力する。
	パスワードの記入方法に誤りがある。	正しいパスワードを入力する。
人数カウント用拡張ソフトが導入されていません。	WV-SAE303Wがインストールされていない。	WV-SAE303Wをインストールする。
ユーザー名/パスワードが違います。	インポートファイルに記録されていたユーザー名/パスワードに誤りがある。	大きさ閾値取得処理を中断し、ユーザー名/パスワードに正しい値を入力する。 また、エクスポート後に再度、インポートして大きさ閾値を取得する。
<ul style="list-style-type: none"> カメラと接続できません。 不明なエラーが発生しました。 	対象のカメラと接続されていない。	対象のカメラと接続する。
指定された値が設定可能な範囲外です。	大きさ閾値に設定できる値の範囲外が指定されている。	再度「テスト開始」を実行する。

カメラの設置と設定（つづき）

「保守モード」におけるエラーメッセージ一覧と対策方法は以下のとおりです。

メッセージ	原因	対策
カメラ情報に未記入の項目があります。処理を中断します。	IPアドレスが入力されていない。	IPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号が入力されていない。	HTTPポート番号を入力する。
	ユーザー名が入力されていない。	ユーザー名を入力する。
	パスワードが入力されていない。	パスワードを入力する。
<ul style="list-style-type: none"> カメラと接続できません。 不明なエラーが発生しました。 	IPアドレスに誤りがある。	正しいIPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号に誤りがある。	HTTPポート番号を入力する。
	PCがカメラのネットワークに接続されていない。	PCをカメラのネットワークに接続する。
ユーザー名/パスワードが違います。	ユーザー名に誤りがある。	正しいユーザー名を入力する。
	パスワードに誤りがある。	正しいパスワードを入力する。
人数カウント用拡張ソフトが導入されていません。	WV-SAE303Wがインストールされていない。	WV-SAE303Wをインストールする。
人数カウント設定が有効になっていません。	人数カウント設定が有効になっていない。	「簡単設定」を実行する。
ツールを置いているフォルダの空き容量が足りないため、保守モードを中止します。	本ツールを置いているドライブの空き容量が少ない。	本ツールを置いているドライブの空き容量を100 MB以上にする。
通信用ライブラリの初期化に失敗しました。	JPEG画像取得用の通信ライブラリの初期化に失敗している。	「人数カウント簡単設定ツール」を再インストールする。
ライブストリーミングを開始できません。	保守モードで利用するJPEG画像取得開始に失敗している。	カメラと「人数カウント簡単設定ツール」を再起動する。
NWカメラ画面のオープンに失敗しました。	Windows Internet Explorerがインストールされていない。	Windows Internet Explorerをインストールする。
カメラの設定変更ができませんでした。	保守モード完了時にカメラと通信に失敗した。	カメラとの接続を確認し、再度保守モードを開始する。

「テスト結果出力」におけるエラーメッセージ一覧と対策方法は以下のとおりです。

(*はカメラのIPアドレス)

メッセージ	原因	対策
カメラを選択してください。	カメラ選択チェックボックスにチェックが1つも無い。	テスト結果を出力したいカメラ選択チェックボックスにチェックを入れる。
以下のカメラはテストが実施されていません。 *1 *2 ...	テストが実施されていないカメラがある。	テストを実施していないカメラはテストを実施する。 ただし、テストを実施していないカメラがあっても、テストを実施したカメラ分のテスト結果は保存される。

カメラの設置と設定（つづき）

「設定結果出力」におけるエラーメッセージ一覧と対策方法は以下のとおりです。

メッセージ	原因	対策
カメラを選択してください。	カメラ選択チェックボックスにチェックが1つも無い。	設定結果を出力したいカメラ選択チェックボックスにチェックを入れる。
カメラ情報に未記入の項目があります。処理を中断します。	IPアドレスが入力されていない。	IPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号が入力されていない。	HTTPポート番号を入力する。
	ユーザー名が入力されていない。	ユーザー名を入力する。
	パスワードが入力されていない。	パスワードを入力する。
•カメラと接続できません。 •不明なエラーが発生しました。	IPアドレスに誤りがある。	正しいIPアドレスを入力する。
	HTTPポート番号に誤りがある。	正しいHTTPポート番号を入力する。
	PCがカメラのネットワークに接続されていない。	PCをカメラのネットワークに接続する。
ユーザー名/パスワードが違います。	ユーザー名に誤りがある。	正しいユーザー名を入力する。
	パスワードに誤りがある。	正しいパスワードを入力する。
人数カウント用拡張ソフトが導入されていません。	WV-SAE303Wがインストールされていない。	WV-SAE303Wをインストールする。

その他

エクスポート/出力データの取り扱いについて

本データは、設置・設定完了後のバックアップ・保守用およびカメラ設定情報の修正に使用しますので、最終のエクスポート/出力データを保管してください。

データ活用一覧

機能	内容	備考
カメラ情報 インポート	カメラ情報を登録するために、「人数カウント簡単設定ツール」のエクスポートデータを使用	「集計・グラフ簡易表示アプリ」のエクスポートデータをインポートすることはできません。
カメラ情報 エクスポート	設定完了後、カメラ情報をエクスポートし、「人数カウント簡単設定ツール」のカメラ情報インポート用に使用	カメラ情報エクスポートデータは、「集計・グラフ簡易表示アプリ」のインポート用にも使います。
テスト結果出力	テスト終了後の結果を出力し、大きさ閾値の確認用に使用	—
設定結果出力	カメラ設定を出力し、保守用に使用	カメラ設定をリストアする方法は「保守について」(P.35ページ)を参照

その他（つづき）

フォルダー・ファイルについて

人数カウント簡単設定ツールのフォルダーやファイルの一部について説明します。

インストールするフォルダーは初期値の場合には、以下になります。

C:\Program Files\Panasonic\PeopleCountSetting (Microsoft Windows (32bit) の場合)

C:\Program Files (x86)\Panasonic\PeopleCountSetting (Microsoft Windows (64bit) の場合)

名称	フォルダー / ファイル	内容
Results_***** (*は日時)	フォルダー	「テスト結果出力」を実行すると、フォルダーとファイルを作成し、大きさ閾値算出のために取得したデータを保存
Settings_***** (*は日時)	フォルダー	「設定値出力」を実行すると、フォルダーとファイルを作成し、カメラ設定値、大きさ閾値、JPEG画像1枚を保存
config.txt	ファイル	「人数カウント簡単設定ツール」の設定値を保存
log	フォルダー	保守用にログを保存
log.txt	ファイル	保守用にログを保存
Settings_bf_vup	フォルダー	バージョンアップしたときにconfig.txtをバックアップ
live.jpg	ファイル	「簡単設定」を実行した時のJPEG画像1枚を保存
MovCnt***_***_***_***\Test (*はIPアドレス)	フォルダー	「テスト開始」で赤枠の付いたJPEG画像、大きさ閾値算出のために取得したデータを保存
MovCnt***_***_***_***\Maintenance (*はIPアドレス)	フォルダー	「保守モード」で青枠と赤枠の付いたJPEG画像を保存

お知らせ

- エクスポートしたカメラ設定情報ファイル (*.dat)は、お客様が出力先に指定したフォルダーに保存されます。
- 「テスト結果出力」と「設定値出力」を実行したファイルは、お客様が出力先に指定したフォルダーに保存されます。

重要

- フォルダーに保存されたJPEG画像には設置場所の映像が映っていますので、取扱にはご注意ください。
- フォルダーにあるファイルの取扱には十分注意してください。ファイルが壊れたり、編集したりすると起動しなくなることがあります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからでもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号